

CSS Nite in **Osaka**, Vol.45

w/YAToBlog

All About

NO

2018.8.11 (±)

# ディレクターが考える XDの導入・活用方法

栄前田 勝太郎

有限会社リズムタイプ  
プランナー/ディレクター



エイマエダ カツタロウ

@katsutaro



エエマエダ カツタロウ

@katsutaro



今日はタコタロウ (大阪バージョン)

@katsutaro



@katsutaro

## 現在やっていること

- プロジェクトマネジメント
- サービスデザイン
- Webサービスのグロースハック
- サービス/プロジェクトの改善
- チームビルディング
- ワークショップデザイン

# ディレクションの本も書きました



リズムタイプという会社

*rt*

RHYTHM TYPE

# リズムタイプという会社

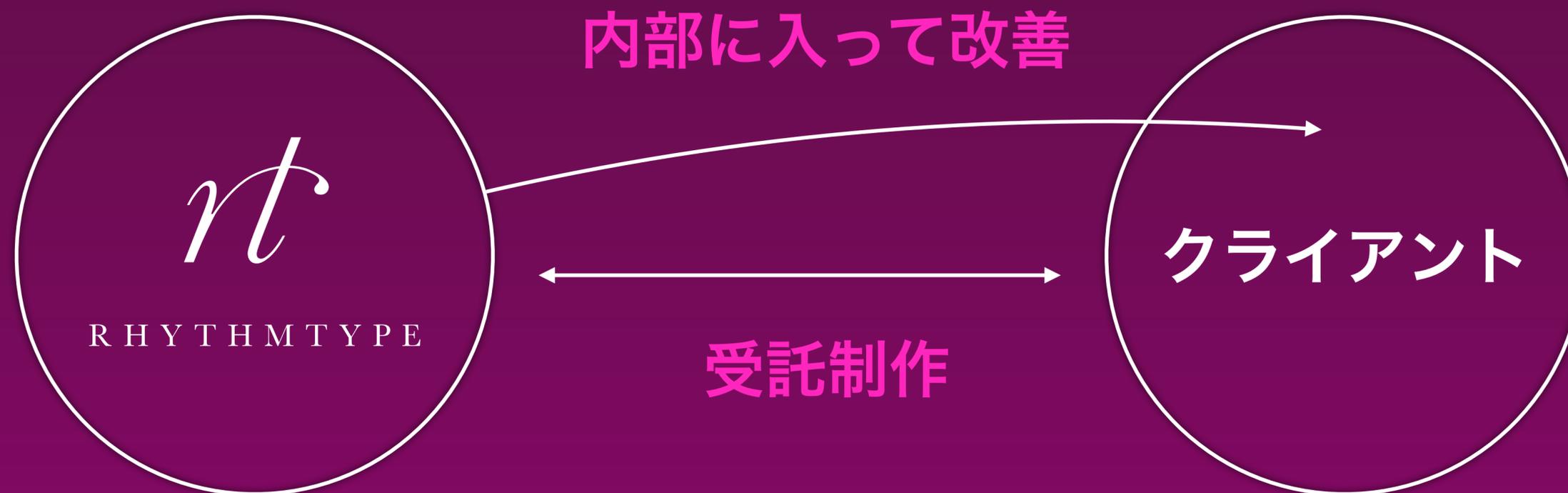
ディレクター  
2人

エンジニア  
1人

デザイナー  
1.5人

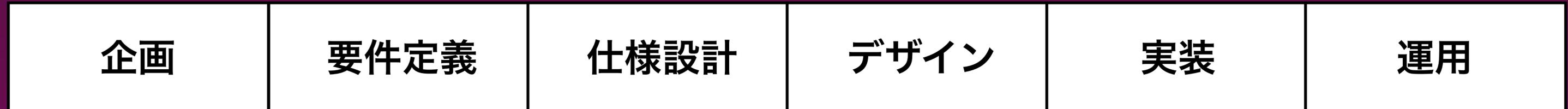


# 弊社のプロジェクト体制



クライアントと直接の取引が基本

# 弊社の制作フローとXD利用シーン



## ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

# セッションの目的とゴール

目的

「XDの導入・活用の価値を伝える」

ゴール

「XDを導入しない理由はない」

# ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

**XD、便利ですよね？**

# XDができること

デザイン

プロト  
タイピング

イメージの  
共有

制作フローの効率化

コミュニケーション

# エクスペリエンス・デザイン

X

D



そんな便利なXDですが、  
クライアントから見た場合は  
どうでしょうか？

# クライアントのリテラシーの差



プロトタイプ  
いいよね！



プロトタイプ  
おいしいの？

# クライアントの熱量の違い



このツール、  
いいですね！



新しいツール、  
いらないよ？

クライアントのリテラシーや  
熱量には幅があります

クライアントの気持ち、  
姿勢を把握して、  
それらに見合った対応が必要



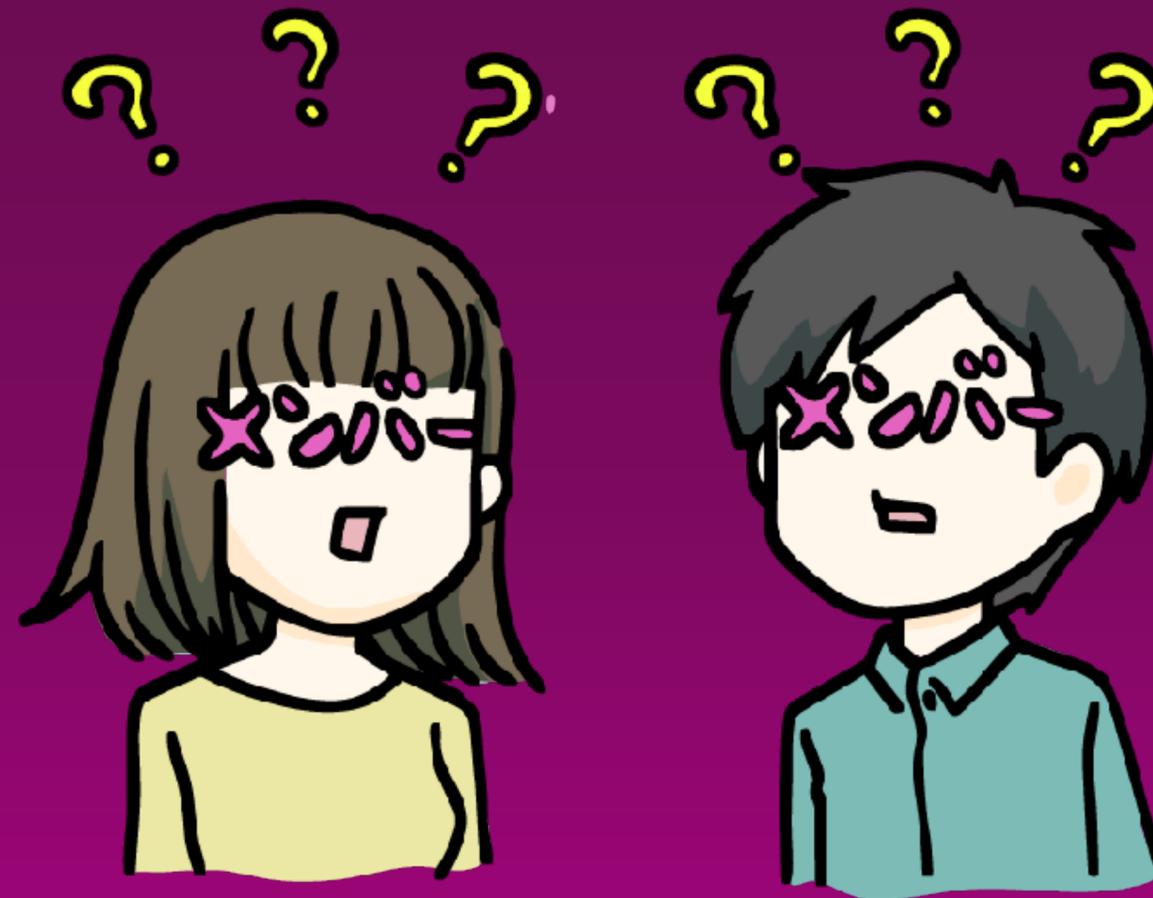
## 負荷を下げたい

新しいツールを増やしたくない

社内用にドキュメントを作りたくない

確認・検討に時間かけたくない

これはクライアントだけではなく、  
社内でも同様の場合があります



# ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

# 5つの導入ケース

1. プロジェクト初期から使い始める
2. 既存サイトをXDで再現する
3. 既存のワークフローに部分的に組み込む
4. CMS設計のイメージを伝える
5. 設計書+プロトタイプをまとめて作る

導入ケース1

プロジェクト初期から使い始める

# ケース1：プロジェクト初期から使い始める

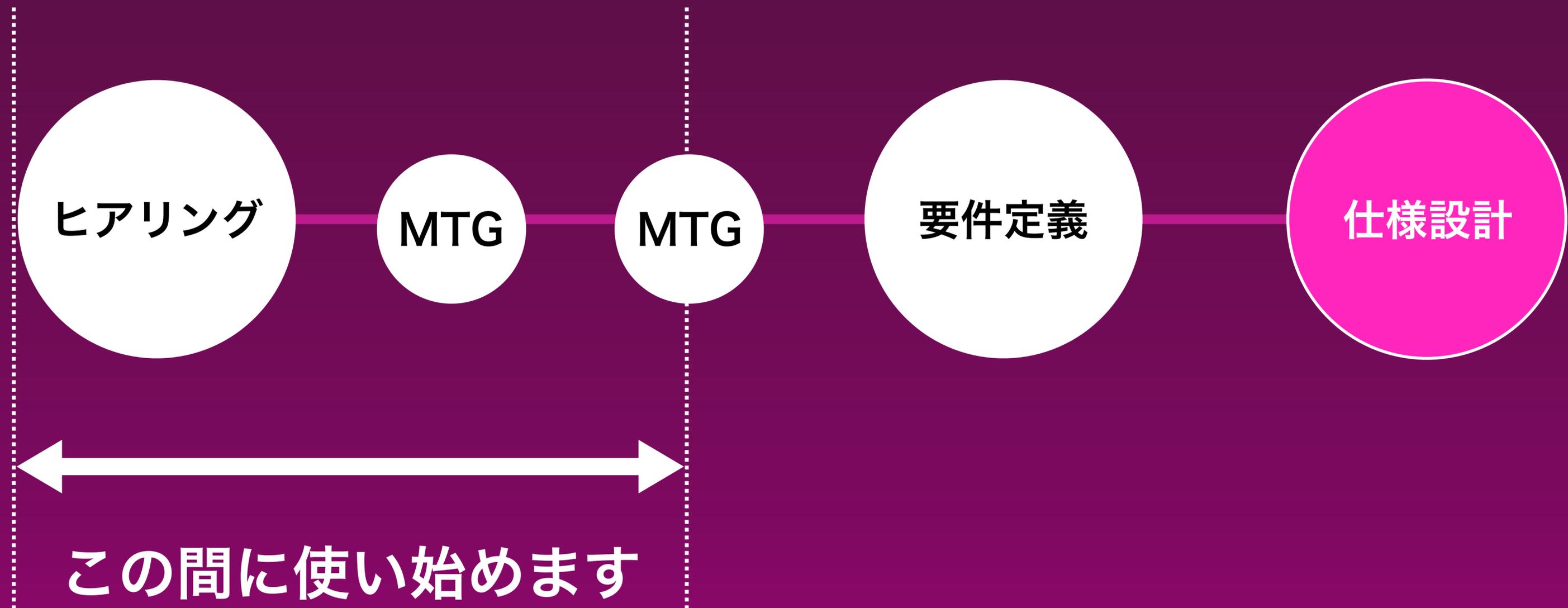
## 想定シーン

プロジェクト初期に  
サイト構成やフローについての話をするとき

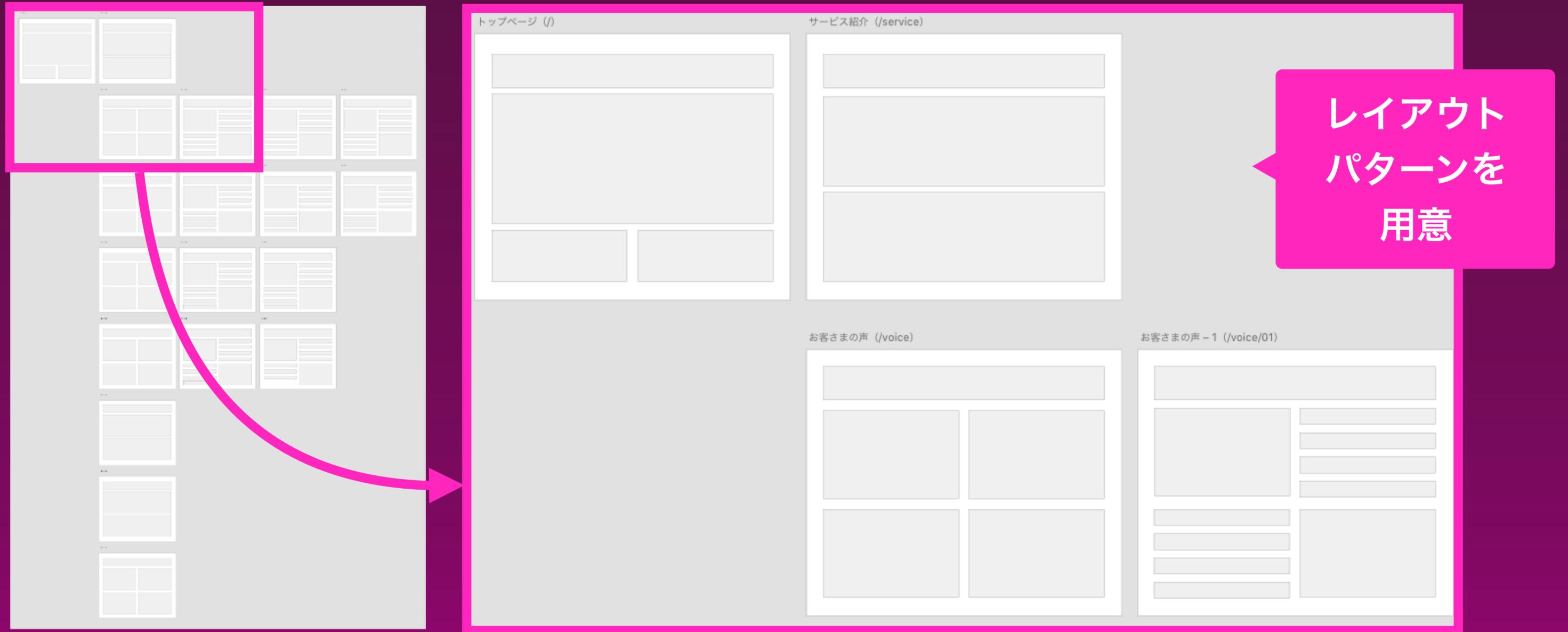
## 導入結果

「イメージしやすかった、伝わりやすかった  
話した内容がその場で確認できてよかった」

# ケース1：プロジェクト初期から使い始める

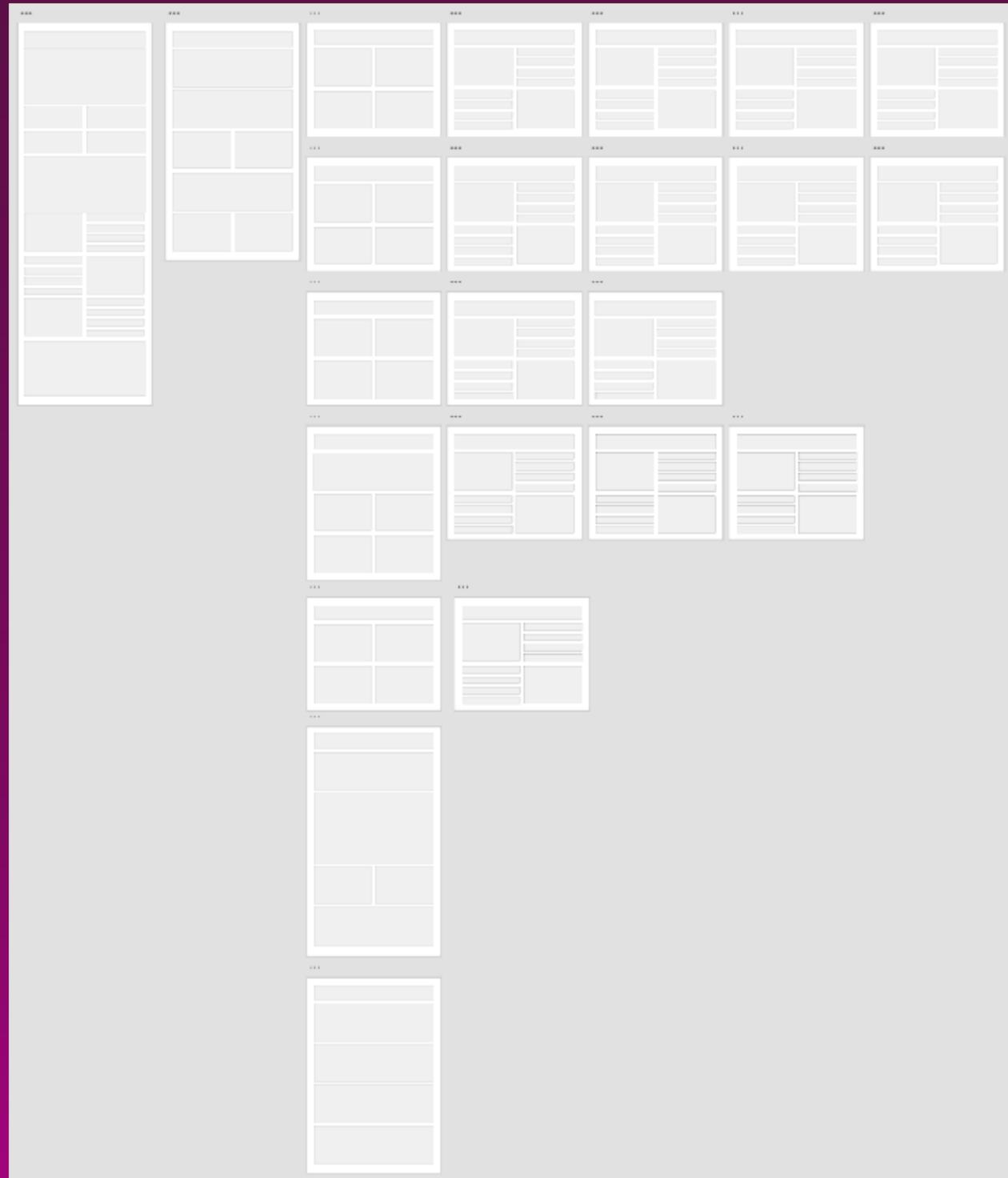


# ケース1：プロジェクト初期から使い始める



打ち合わせ前に用意しておく

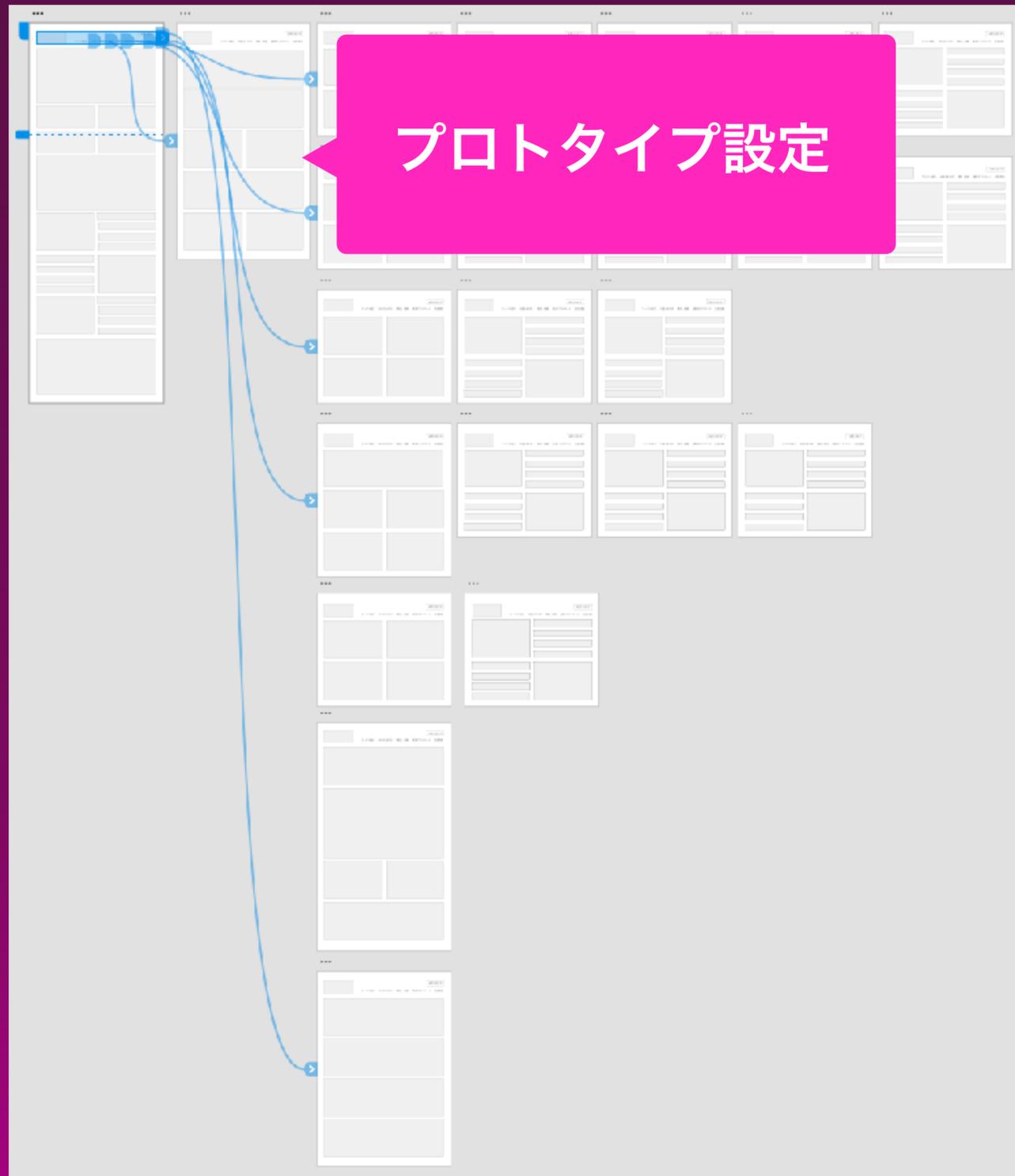
# ケース1：プロジェクト初期から使い始める



適宜、ページを追加したり、  
ページの構成要素を配置

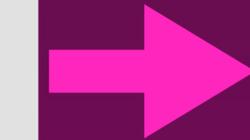
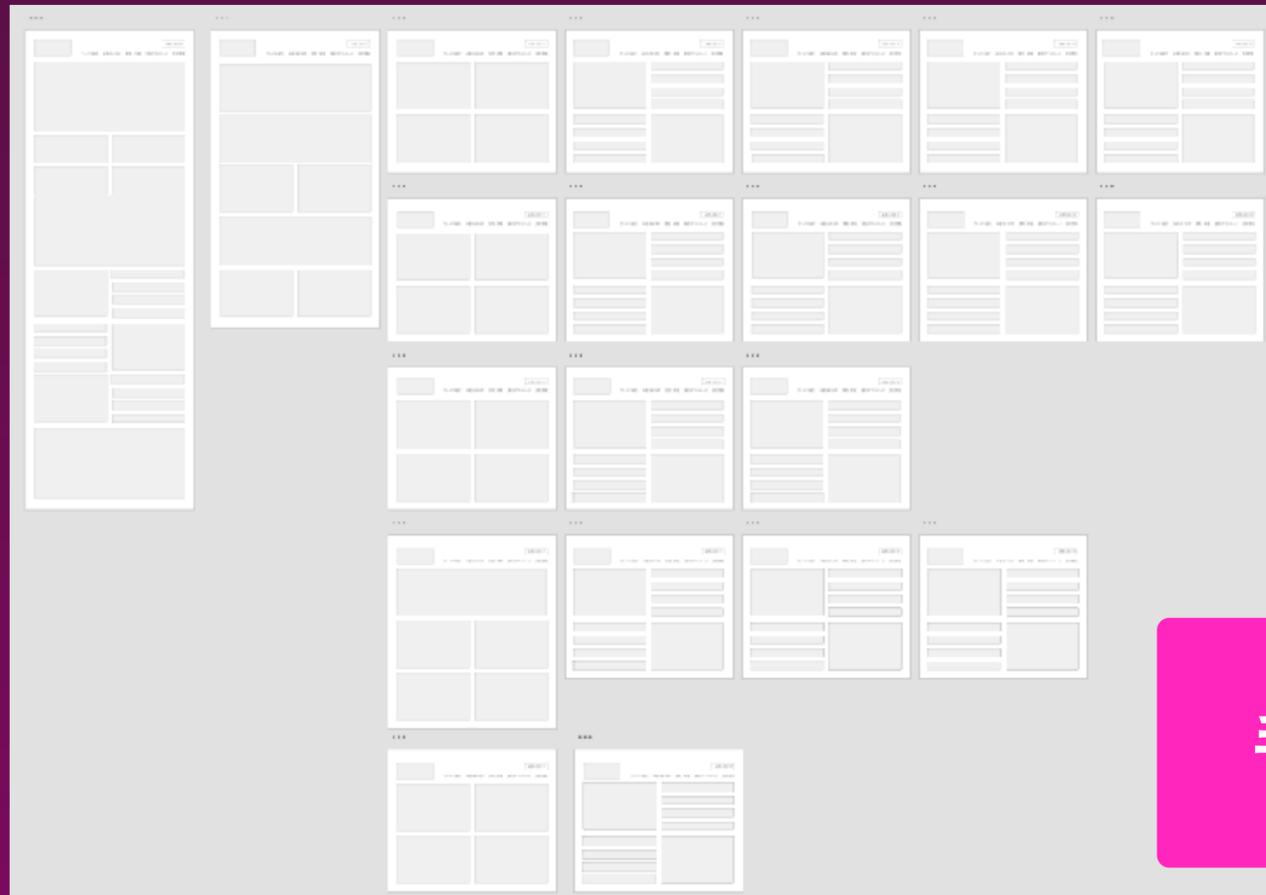
クライアントと話をしながら  
その場で反映していく

# ケース1：プロジェクト初期から使い始める



プロトタイプ設定をすると、  
共有・確認がしやすい

# ケース1：プロジェクト初期から使い始める



手動です

第一階層	第二階層	第三階層	ディレクトリ名	サブディレクトリ名	移行/新規	デザイン	原稿
トップページ			/		新規	○	-
			/style/		新規	○	○
				/about/	新規	○	○
				/strategy/	新規	○	○
				/service/	新規	○	○
				/faq/	新規	○	○
	お客様の声	よくあるご質問	/stories/		移行	○	○
				/story01/	移行	-	-
				/story02/	移行	-	-
				/story03/	移行	-	-
				/story04/	移行	-	-
				/story05/	移行	-	-
				/story06/	移行	-	-
				/story07/	移行	-	-
	事例・実績		/projects/		移行	○	-
		オフィス		/works/cat/offices/	移行	-	-
		研究開発施設		/works/cat/rd/	移行	-	-
		ホテル		/works/cat/hotels/	移行	-	-
		まちづくり/複合施設		/works/cat/urban/	移行	-	-
		LCM		/works/cat/lcm/	移行	-	-
		生産施設		/works/cat/production/	移行	-	-
		物流施設		/works/cat/distributing/	移行	-	-
		金融施設		/works/cat/financial/	移行	-	-
		データセンター		/works/cat/data_centers/	移行	-	-
		医療施設		/works/cat/medical/	移行	-	-
		教育施設		/works/cat/educational/	移行	-	-
		商業施設		/works/cat/commercial/	移行	-	-
		公共施設		/works/cat/public/	移行	-	-
	導入の流れ		/introduction/		新規	○	-
	会社案内		/company/		新規	○	×
		企業理念		/policy/	移行	×	○
		会社概要		/outline/	移行	×	○
		アクセス		/access/	移行	×	○
		プレスリリース	/press/		新規	×	-
		お知らせ	/info/		移行	×	-

XDのサイトマップから、  
ファイルリストをつくる

# ケース1：プロジェクト初期から使い始める

 ポイント

クライアントに新しいツール  
であることを意識させずに導入する

## 導入ケース2

既存サイトをXDで再現する

# ケース2：既存サイトをXDで再現する

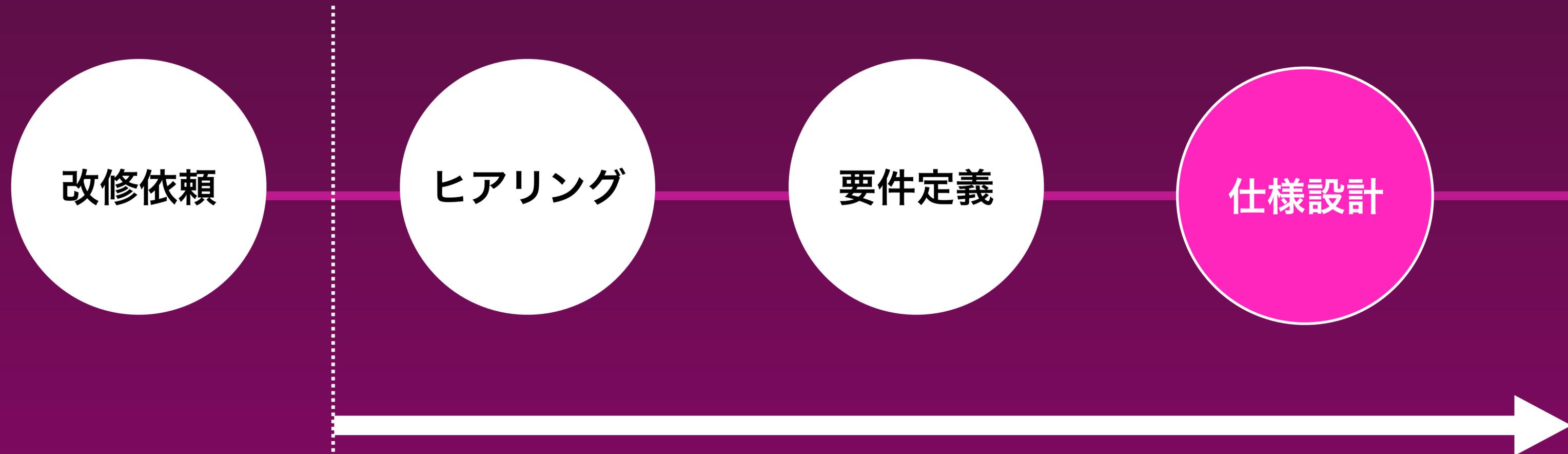
## 想定シーン

- ・ 既存サイトの部分改修を検討するとき
- ・ 新規コンテンツを追加するとき

## 導入結果

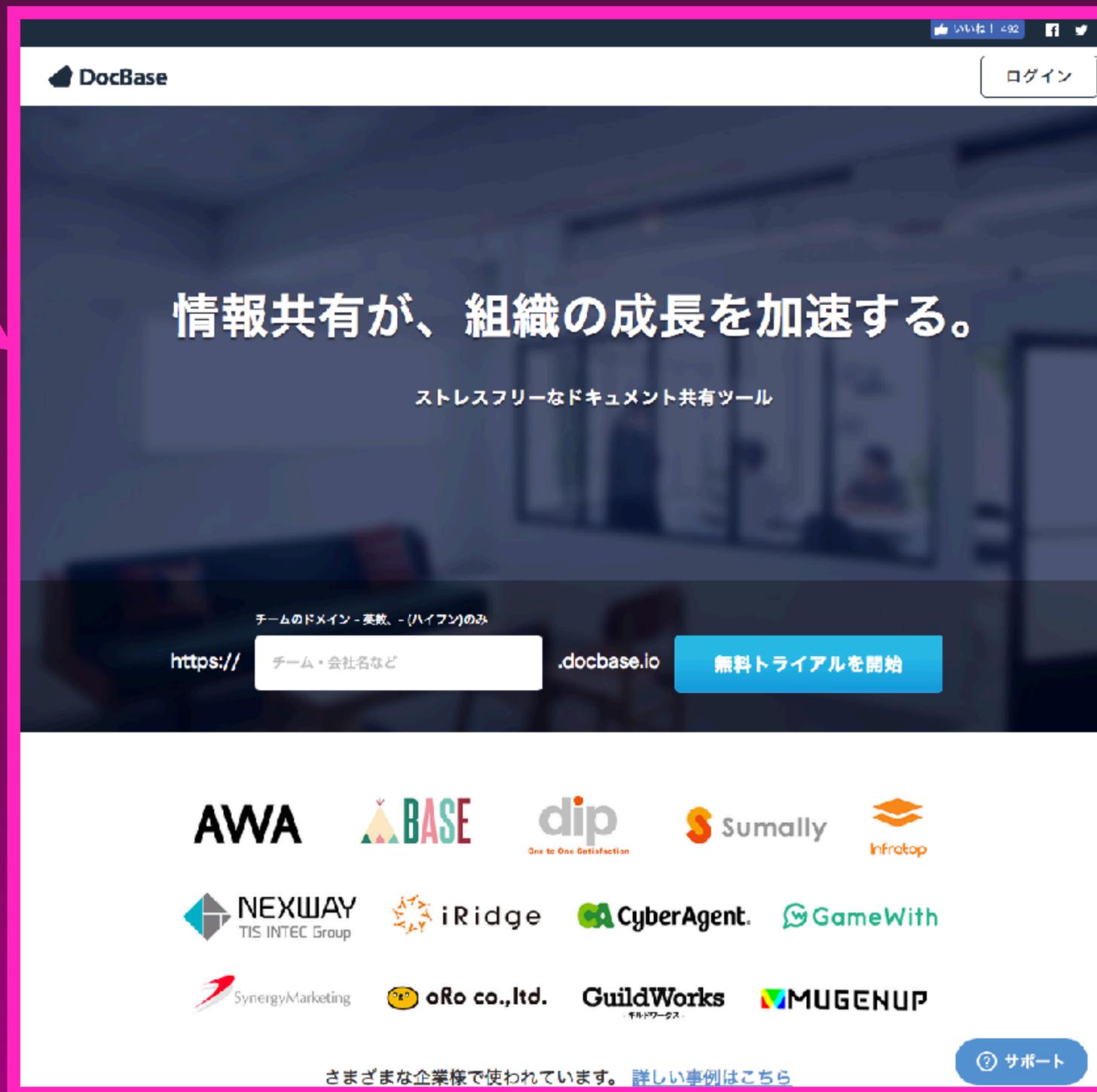
「どう変わるのかが、わかりやすかった、話を進めやすかった」

## ケース2：既存サイトをXDで再現する



この間で使います

# ケース2：既存サイトをXDで再現する

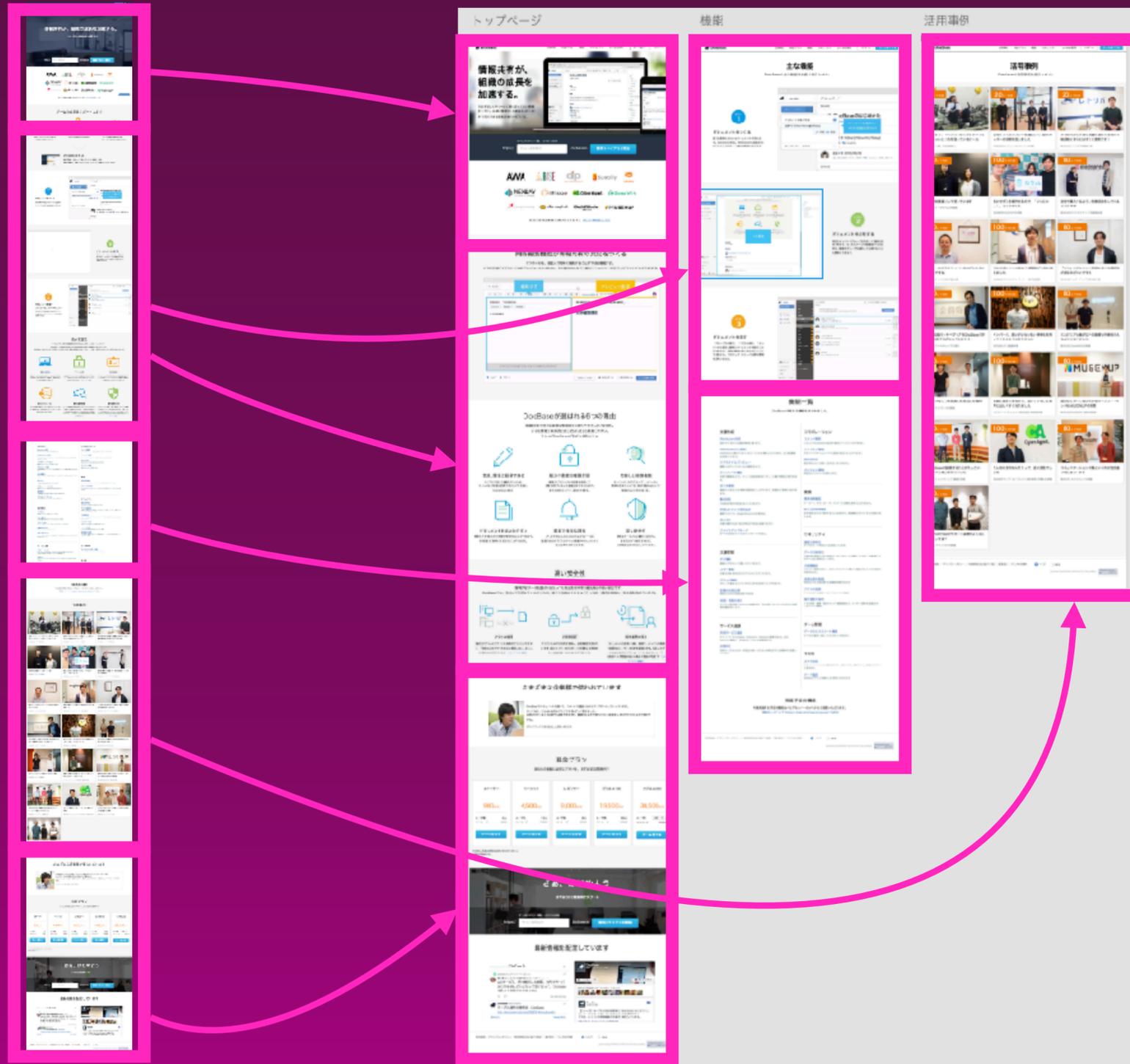


要件)  
シングルページを  
再構成する

さまざまな企業様で使われています。 [詳しい事例はこちら](#)

サポート

# ケース2：既存サイトをXDで再現する



既存ページをキャプチャ、  
XD上で切り貼りして、  
ページ分割・再構成

# ケース2：既存サイトをXDで再現する

機能

DocBase

活用事例 料金プラン 機能 セキュリティ よくある質問 ログイン チームをつくる

## 主な機能

DocBaseの主な機能を動画で紹介します。

**STEP 1**

### ドキュメントをつくる

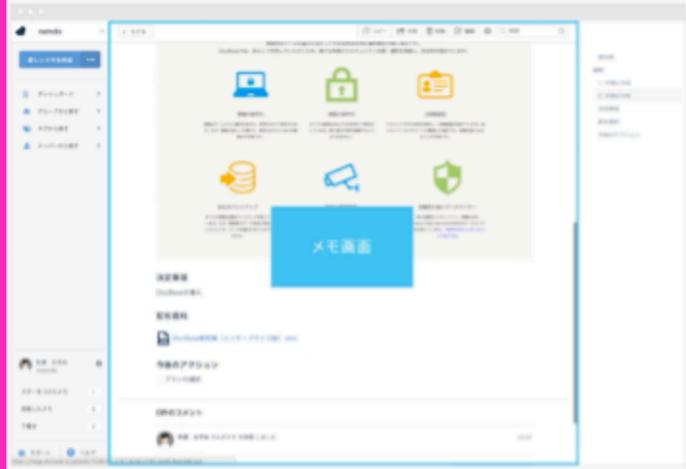
誰でも簡単にきれいなドキュメントを作れます。Markdown対応。Markdownに馴染みのない人も入力サポート機能で簡単に使えます。



**STEP 2**

### ドキュメントを共有する

特定のメンバーでグループを作成して情報を共有できます。もちろんチームや組織全体への共有も、複数のグループを選択して公開することも簡単にできます。



キャプチャ

キャプチャ

活用事例

DocBase

活用事例 料金プラン 機能 セキュリティ よくある質問 ログイン チームをつくる

## 活用事例

DocBaseの活用事例を紹介します。

<p>50人で利用</p>  <p>共有できて、ワープロでもエディターでもない、いいところを狙っているツール</p> <p>株式会社人権一体 金岡博士</p>	<p>20人で利用</p>  <p>社内インフルエンサーを選定して、他のメンバーの投稿を促しました</p> <p>株式会社マンションマーケットの菅原</p>	<p>20人で利用</p>  <p>メモもPDF化すると綺麗に納品物にするにはすごく使えます</p> <p>株式会社レトリバ 岡岡英人様</p>
<p>100人で利用</p>  <p>社内の知恵袋として使っています</p> <p>株式会社イーサグラムの菅原</p>	<p>100人で利用</p>  <p>気にせず人数を増やせるので、「いいじゃん！」となりました</p> <p>株式会社Housmartの菅原</p>	<p>80人で利用</p>  <p>全社で導入するよう、布教活動をしているところです</p> <p>株式会社ネットネイティブ 佐藤慎也様</p>
<p>100人で利用</p>  <p>隣のチームが何をやっているのかわかるのがいいですね</p> <p>株式会社ティルス 岩井建大様</p>	<p>100人で利用</p>  <p>Wikiを使っていた時より投稿数が4倍に増えました</p> <p>株式会社モバイルファクトリー 松本祐輔様</p>	<p>80人で利用</p>  <p>『メモ』と呼んでいて気軽に書ける雰囲気があるのがいいですね</p> <p>株式会社キュア・アップ 高木健介様</p>

## ケース2：既存サイトをXDで再現する

 ポイント

必要な箇所を、必要な分だけ、  
手早く作る

## 導入ケース3

既存のワークフローに部分的に組み込む

# ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

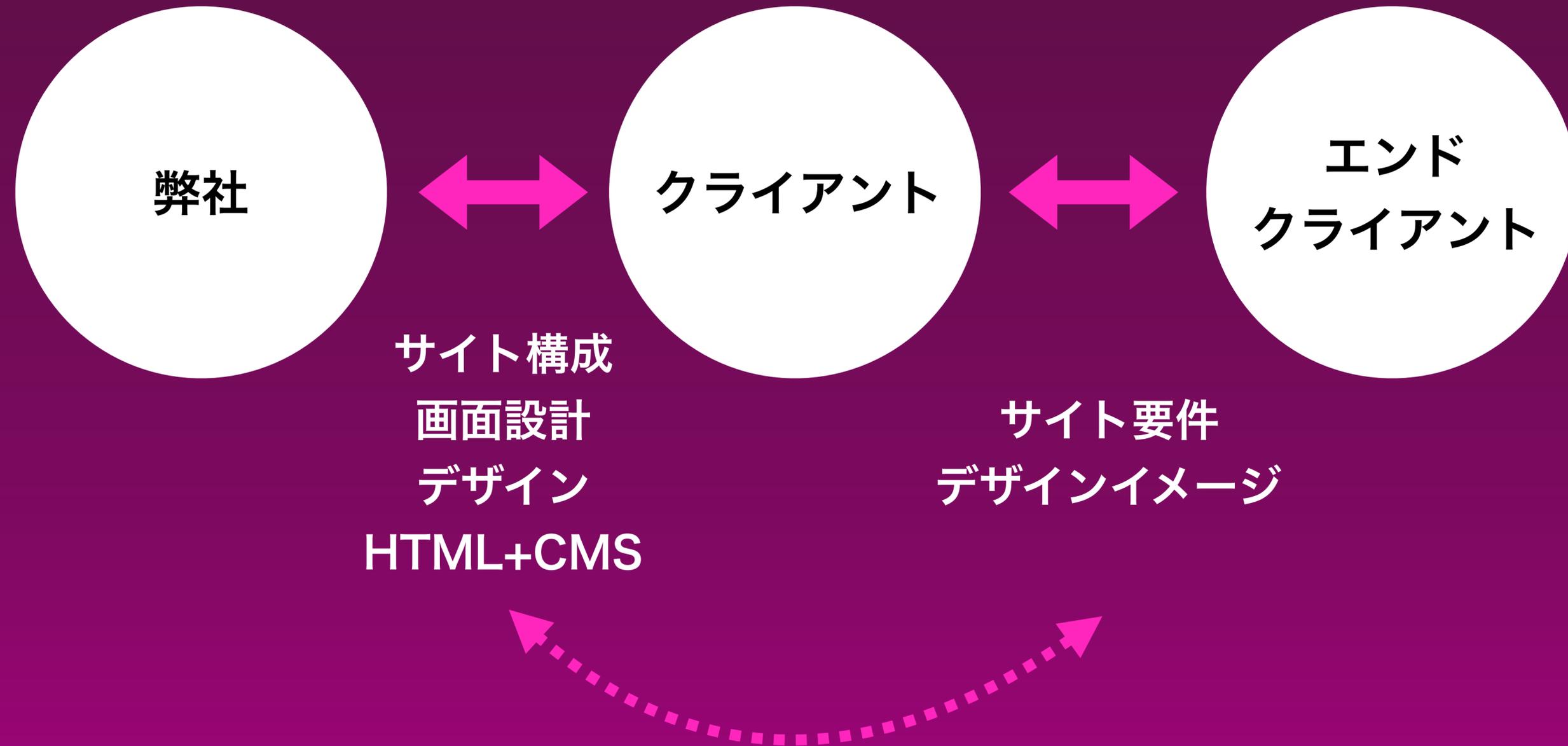
想定シーン

発注者と直接のコミュニケーションが行えない場合

導入結果

「ブラウザでの  
確認⇒戻し⇒再確認がしやすかった！」

# ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

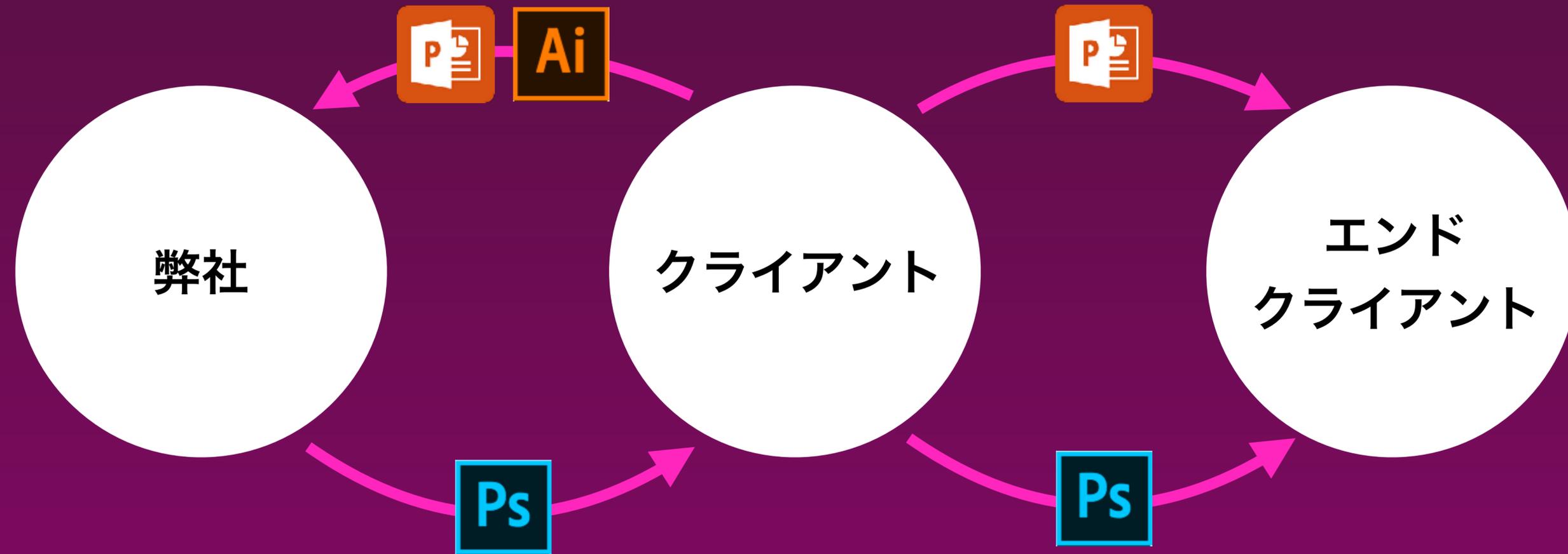


# ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



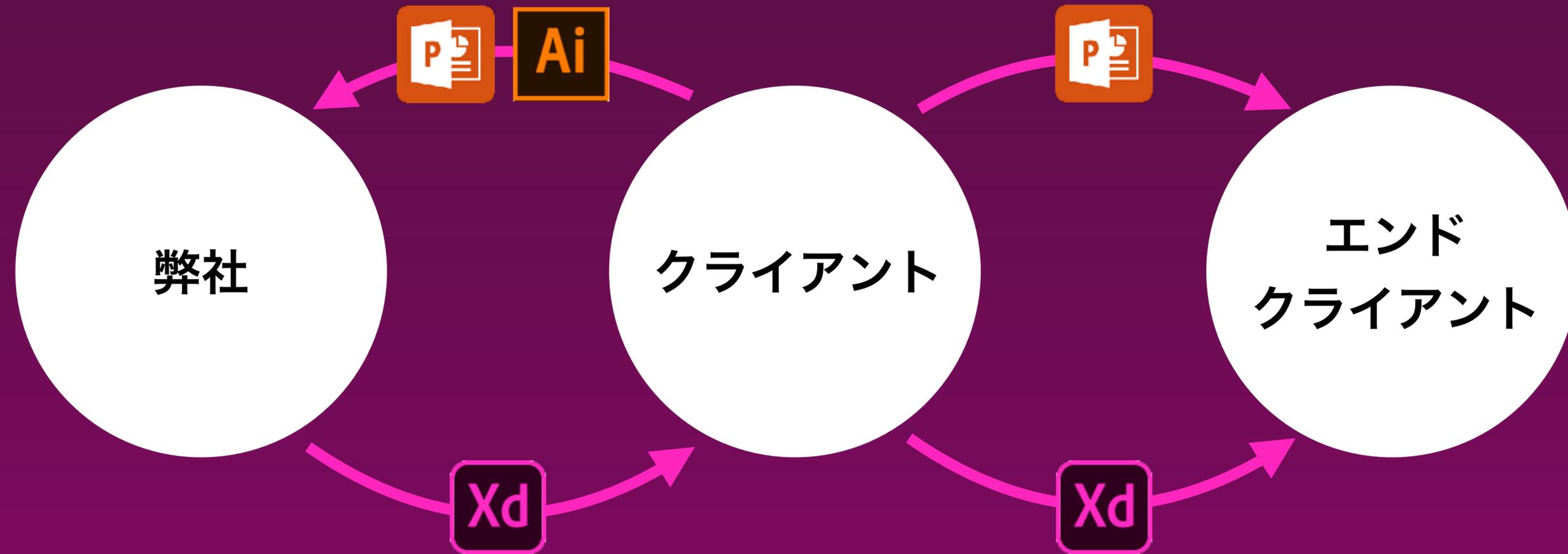
このフローを変えたくない

# ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



Photoshopでデザインした  
キャンプで確認

# ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む



ワークフローは変えずに  
弊社担当箇所のアウツプットを変更

# ケース3：既存のワークフローに部分的に組み込む

 ポイント

変えられる部分だけを変える

(変えることに時間をかけない)

導入ケース4

CMS設計のイメージを伝える

# ケース4：CMS設計のイメージを伝える

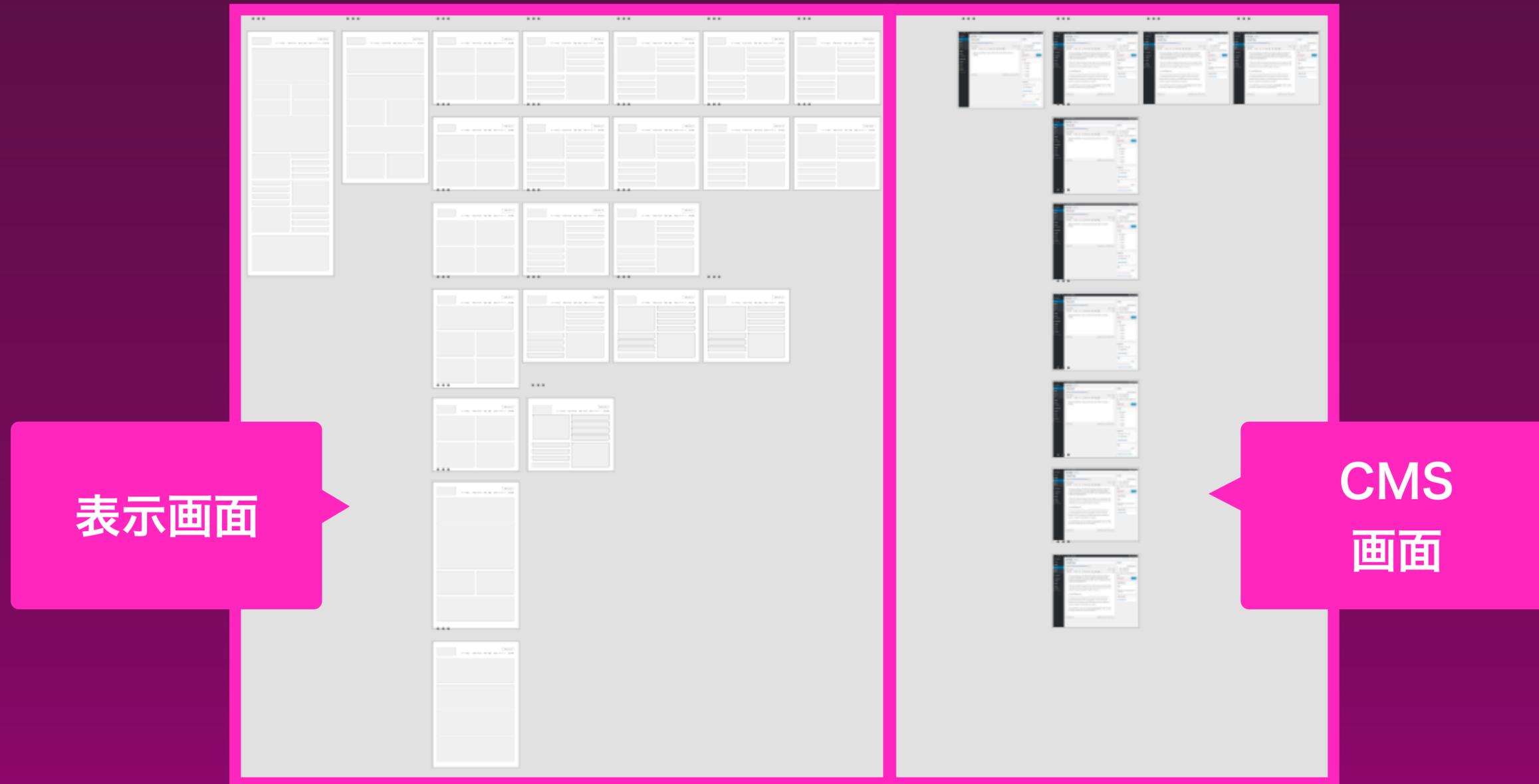
## 想定シーン

CMS管理画面で入力した内容が  
どのように反映されるかを伝えるとき

## 導入結果

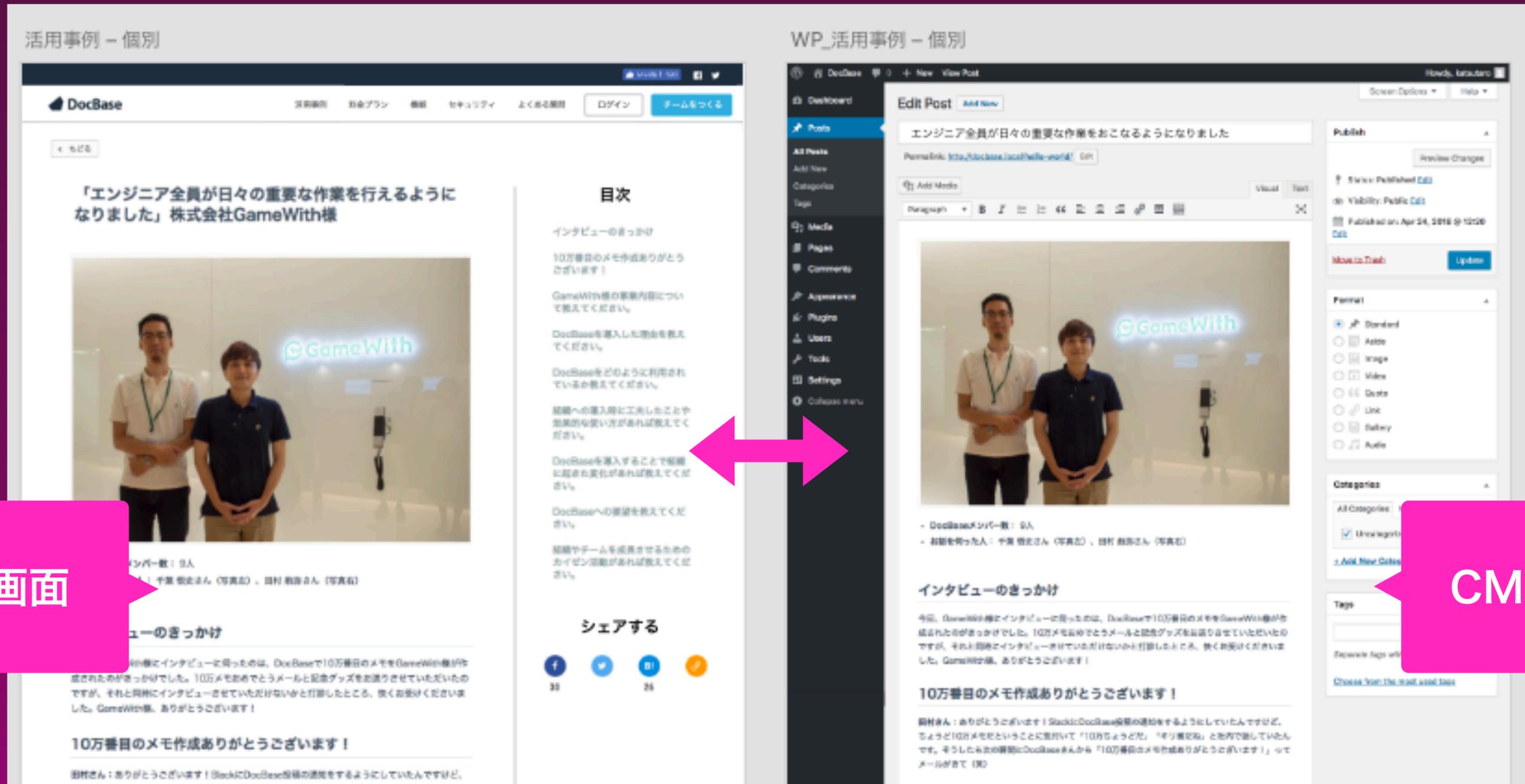
「仕様書ではよくわからなかった点が  
イメージできるようになった」

# ケース4：CMS設計のイメージを伝える



1つのXD上で、表示画面とCMS画面を作成

# ケース4：CMS設計のイメージを伝える



表示画面

CMS画面

1つのXD上で、表示画面とCMS画面を確認

# ケース4：CMS設計のイメージを伝える

 ポイント

ドキュメントだけでは  
伝わりづらい部分に使ってみる

## 導入ケース5

設計書+プロトタイプをまとめて作る

# ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る

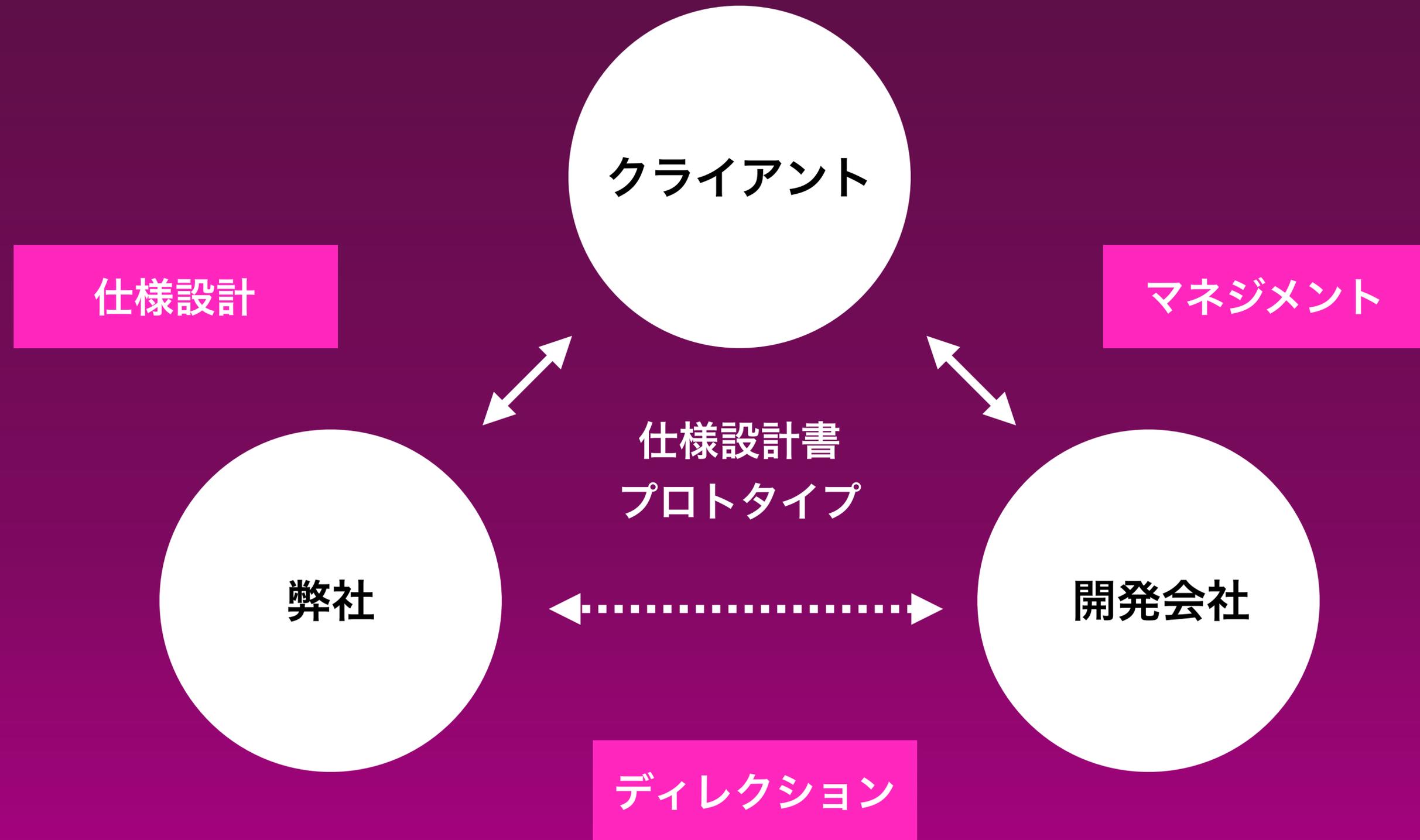
想定シーン

仕様設計書とプロトタイプを作成するとき  
(クライアントと開発会社が別の場合)

導入結果

「管理・更新するファイルが  
まとめられてよかった」

# ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る



# ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る

### タイムライン画面

利用頻度が高い(高くしたい)ポイント・スタンプ画面の動線を配置(サイドメニューからは削除)

利用頻度が高い(高くしたい)ポイント・スタンプ画面の動線を配置(サイドメニューからは削除)

### 達成目標

選択(設定)した「食事」「運動」の達成目標項目、それぞれの項目の達成状況はステータス表示

目標を変更したい場合は、目標選択画面に戻って再選択(再設定)することが可能(ただしそれまでの達成目標値はクリアされる)

### あなたの目標

「あなたの目標」画面に検索(設定)された目標が表示、選択を確認することができる

目標が達成されたタイミングでタイムライン画面でポップアップ通知、(ポイント・スタンプが付与される)

### あなたの記録

達成された目標が達成順に掲載(達成日時も表示)目標達成、活動記録として残る

### マイページ

「目標」「記録」が機能するように(ユーザーの目にふれる、ユーザーが毎日の利用の中でストレスなくアクセスできるように)、タイムライン画面と並列の構成に変更、情報を集約した「マイページ」を新規作成

マイページを新規作成することで、サイドメニューからはプロフィール情報と目標画面を削除

(=サイドメニューを利用しなくともアプリを活用できるようにすることも目的の一つ)

### 【行動ポイント取得仕様】

取得アクション	取得ポイント	取得可能回数	通常のポイント取得率(%)	通知メッセージ	備考
閲覧: ニュース	1	100回	5	ニュースを閲覧したことで、1ポイント取得しました。	
閲覧: 読み物コンテンツ	1	100回	5	コラムコンテンツを閲覧したことで、1ポイント取得しました。	
記事にいいね!する	1	100回	5	記事にいいね!したことで、1ポイント取得しました。	
入力: 食事	3	300回	10 (2回)	食事を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力: 運動	2	200回	10 (2回)	運動を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力: 健康	1	100回	5	健康を入力したことで、1ポイント取得しました。	健康とはユーザーが健康診断を受けた日や、1ヶ月も入力が続くと健康ポイント付与。
入力: 気分	1	100回	5	気分を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力: 睡眠	1	100回	5	睡眠を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力コンプリート	1	100回	5	今日の入力が完了したことで、1ポイント取得しました。	コンプリートとは、「食事」「運動」「健康」「気分」「睡眠」がすべて入力された状態。
利用再開(14日ぶり以降)	3	1回/14日	15	アプリの利用を再開したことで、3ポイント取得しました。	

全てのアイコンがアクティブになった状態が「入力コンプリート」つまり、食事、運動、健康、気分、睡眠をそれぞれ1回以上入力している状態。

XD上で、仕様設計書の情報を記載

# ケース5：設計書+プロトタイプをまとめて作る

### タイムライン画面

利用頻度が高い(高くしたい)ポイント・スタンプ画面の動線を配置(サイドメニューからは削除)

利用頻度が高い(高くしたい)ポイント・スタンプ画面の動線を配置(サイドメニューからは削除)

### 達成目標

選択(設定)した「食事」「運動」の達成目標項目、それぞれの項目の達成状況はステータス表示

目標を変更したい場合は、目標選択画面に戻って再選択(再設定)することが可能(ただしそれまでの達成目標値はクリアされる)

【表示ロジック】

	BMI：18以下	BMI：18より大きい
体重&目標体重	あなたはBMI18以下(健康)なので、これ以上減せるのはおすすめできません。	あなたが体重増加させるにはXXkg/月ペースがおすすめです。
体重>目標体重	あなたが健康的に減せるにはXXkg/月ペースがおすすめです。	BMIで判断するとこれ以上体重を増やさない方がおすすめです。

### あなたの目標

「あなたの目標」画面に検索(設定)された目標が表示、選択を確認することができる

目標が達成されたタイミングでタイムライン画面でポップアップ通知。(ポイント・スタンプが付与される)

### マイページ

「目標」「記録」が機能するように(ユーザーの目にふれる、ユーザーが毎日の利用の中でストレスなくアクセスできるように)、タイムライン画面と並列の構成に変更、情報を集約した「マイページ」を新規作成

マイページを新規作成することで、サイドメニューからはプロフィール情報と目標画面を削除

(←サイドメニューを利用しなくともアプリを活用できるようにすることも目的の一つ)

### 【行動ポイント取得仕様】

取得アクション	取得ポイント	取得可能回数	標準ポイント取得率(%)	通知メッセージ	備考
閲覧：ニュース	1	100回	5	ニュースを閲覧したことで、1ポイント取得しました。	
閲覧：読み物コンテンツ	1	100回	5	コラム/レシピを閲覧したことで、1ポイント取得しました。	
記録：いいね！する	1	100回	5	記録をいいね！したことで、1ポイント取得しました。	
入力：食事	3	300回	10	食事を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力：運動	2	200回	10	運動を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力：健康	1	100回	5	健康を入力したことで、1ポイント取得しました。	健康のほかにユーザーが特定の健康入力を続けたら、1ヶ月でも入力が続くと特別なポイントが付与。
入力：気分	1	100回	5	気分を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力：睡眠	1	100回	5	睡眠を入力したことで、1ポイント取得しました。	
入力コンプリート	1	100回	5	今日の入力を完了したことで、2ポイント取得しました。「食事」「運動」「健康」「気分」「睡眠」がすべて入力されたら発生。	コンプリートとは、「食事」「運動」「健康」「気分」「睡眠」がすべて入力されたら発生。
利用再開(14日ぶり以降)	3	1回/14日	15	アプリの利用を再開したことで、3ポイント取得しました。	

すべてのアイコンがアクティブになった状態が「入力コンプリート」つまり、食事、運動、健康、気分、睡眠をそれぞれ1回以上入力している状態。

### あなたの記録

達成された目標が達成順に掲載(達成日時も表示)目標達成、活動記録として残る

画面ごとにGoogleスライドにコピペ

# ケース5：仕様設計書と実装指示書を作成するとき

 ポイント

作成・共有するドキュメントを  
少なくする

# 5つの導入ケースのポイント

1. 新しいツールと意識させずに導入する
2. 必要な箇所を、必要な分だけ、手早く作る
3. 変えられる部分だけを変える
4. 伝わりづらい部分に使ってみる
5. 作成・共有するドキュメントを少なく

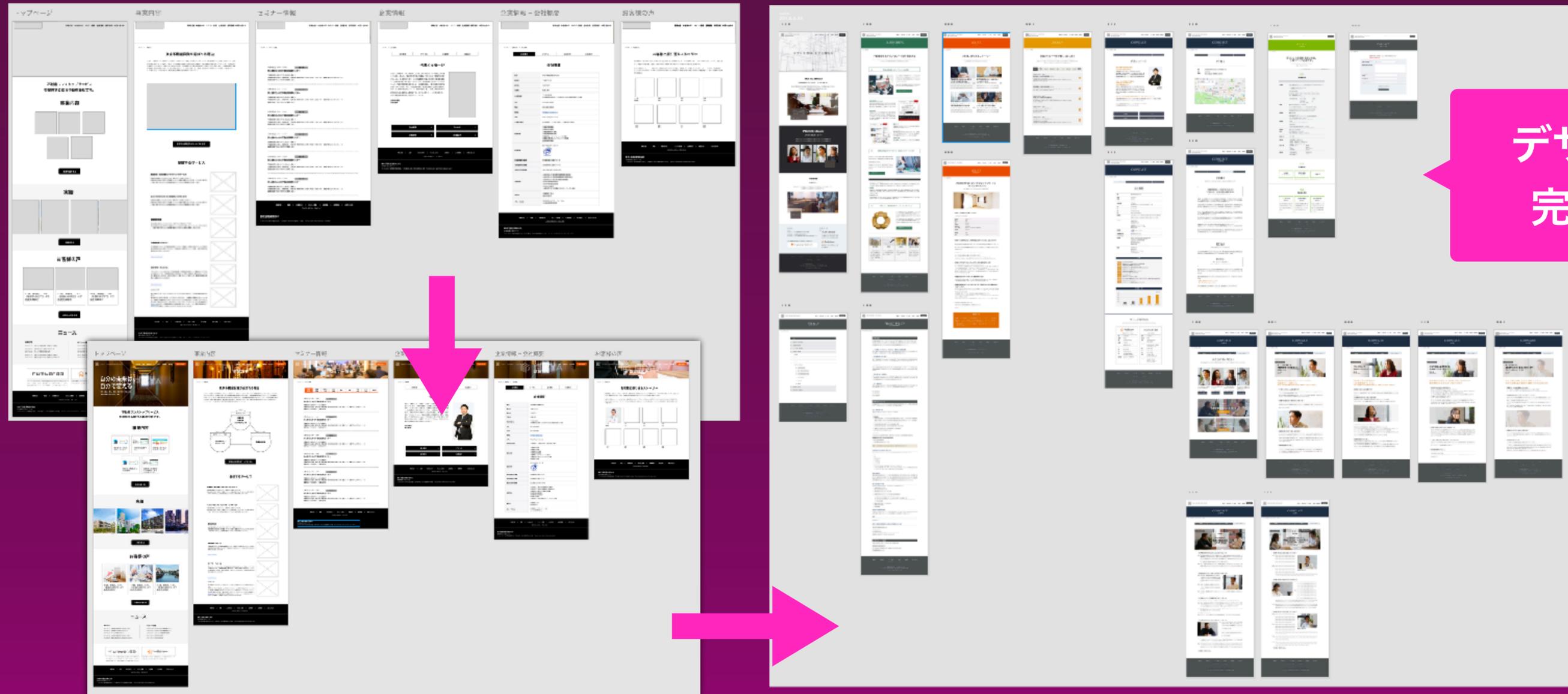


# XD導入における 失敗例とふりかえり

## 失敗例

デザインであることを  
認識してもらえてなかった！

# 失敗例：デザインであることを認識してもらえてなかった

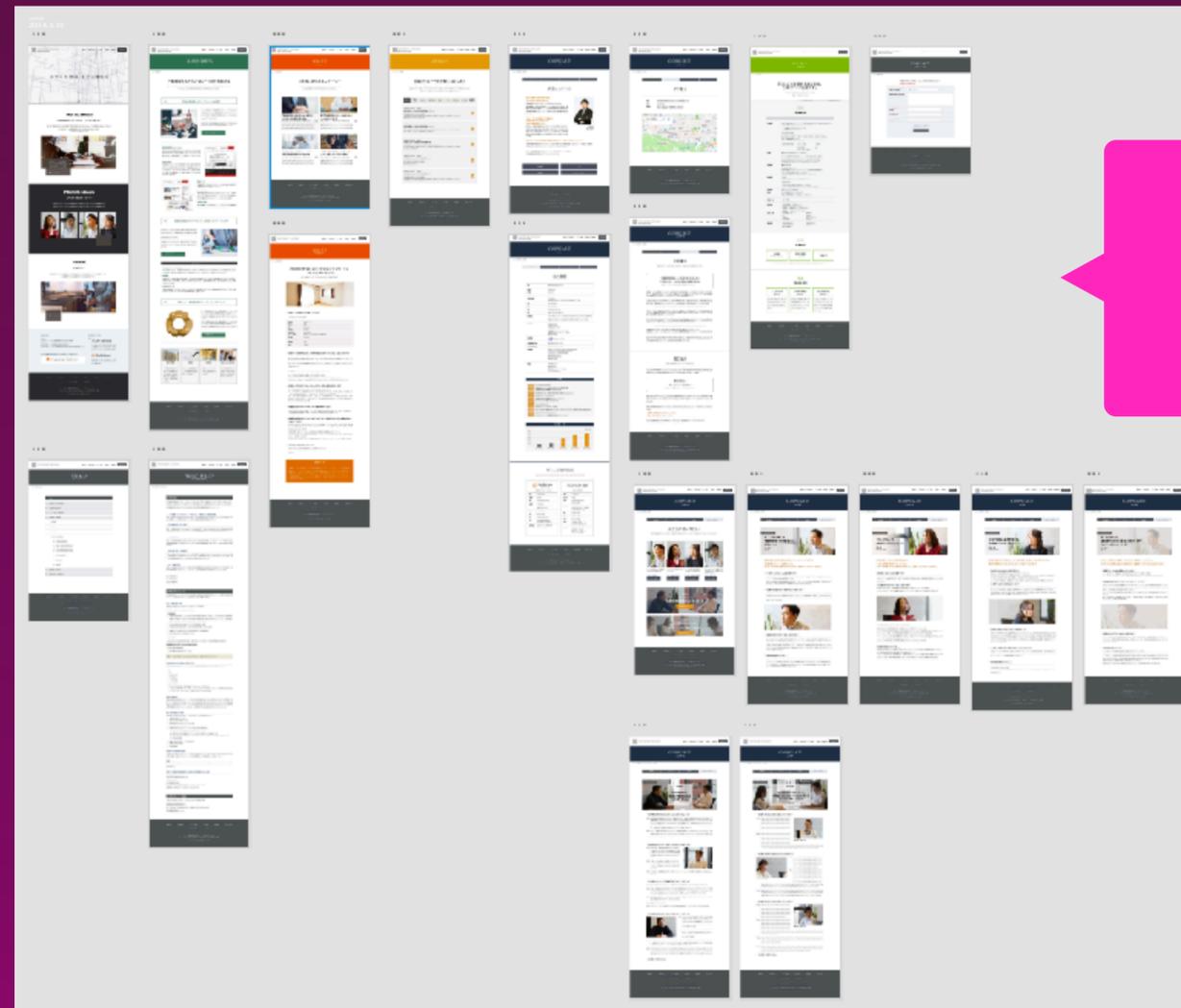


XD上で徐々に構成とデザインを詰めていった

# 失敗例：デザインであることを認識してもらえてなかった



デザインは  
まだ確認  
できないの？

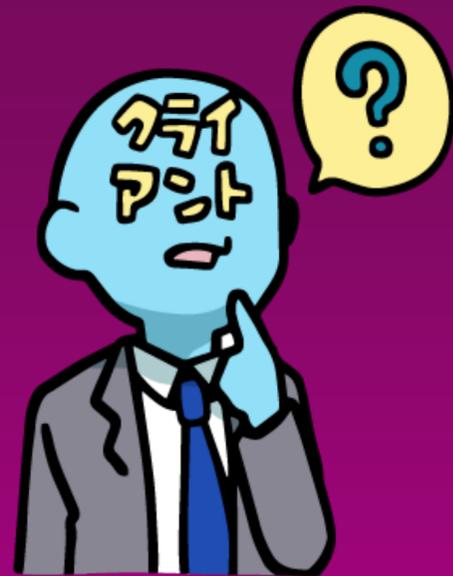


デザイン  
完成形

XDとデザインは別だと思われていた

# 失敗例：デザインであることを認識してもらえてなかった

XD上で確認していた内容が  
まだデザインではなく、  
途中段階だと思われていた



# 失敗例：デザインであることを認識してもらえてなかった

クライアントの理解度に  
合わせたコミュニケーション  
ができていなかった



以前に担当していた制作会社のフローの認識が残っていた

クライアントと  
しっかりと  
向き合うことが大事



# ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

XDの導入によって得られる価値

どのようにXDを活用しているか

活用ケース1

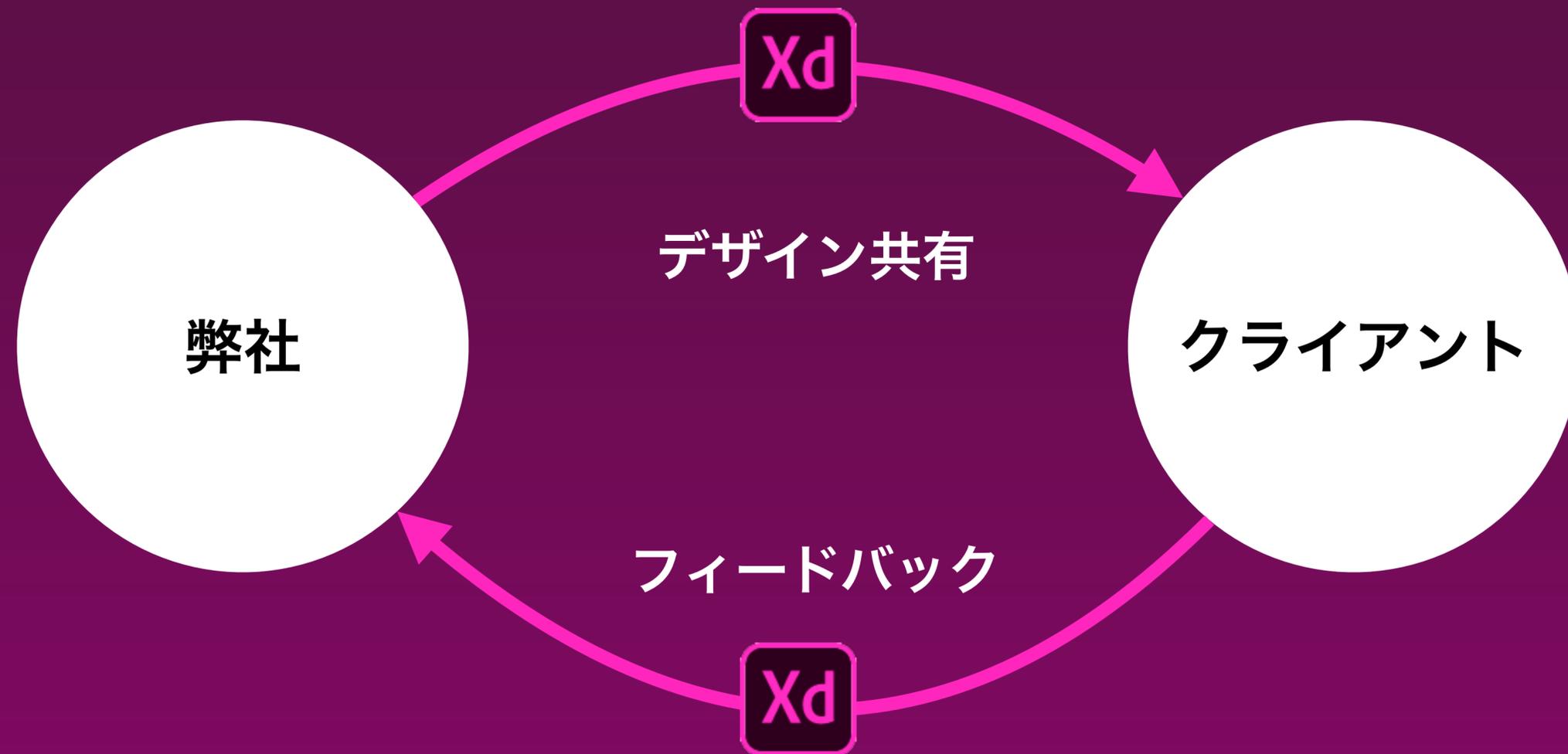
デザイン確認・共有する

# ケース1：デザイン確認・共有する



デザインの共有とフィードバックが異なるツールになってしまっていた

# ケース1：デザイン確認・共有する



XDのみで完結するようになりました

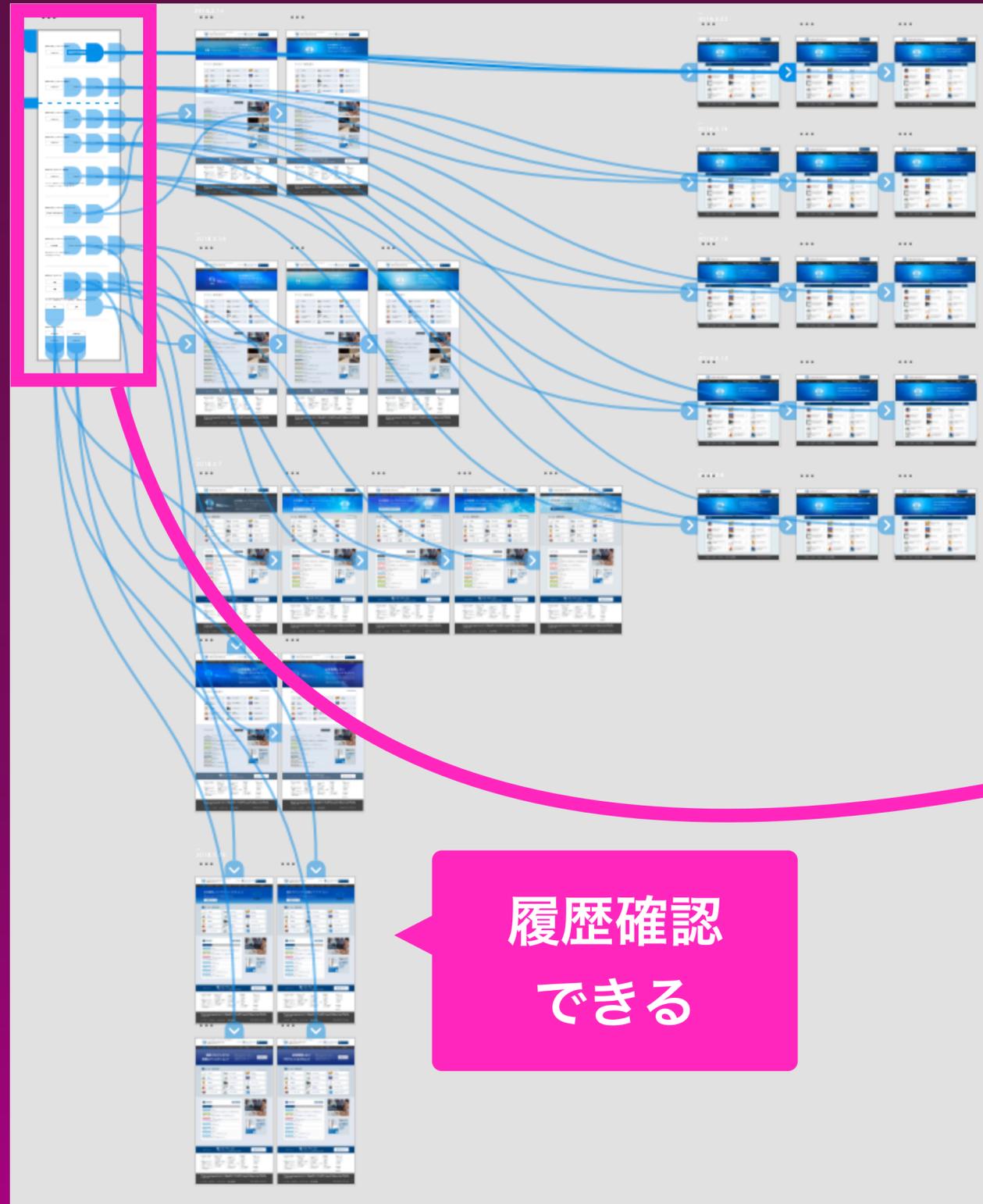
# ケース1：デザイン確認・共有する

---

**XD上で履歴も確認  
できるようにしています**



# ケース1：デザイン確認・共有する



履歴確認  
できる

## 2018.2.7 トップページ

a案

b案

c案

d案

e案

以下の2案はお戻し内容とは別途で弊社からの提案となります  
メインイメージの画像の高さ、「サービス事例を探す」「新着情報」の表現を変えています

f案

g案

リスト表示

## 2018.1.25 トップページ

ロゴあり1

ロゴあり2

ロゴなし1

ロゴなし2

# ケース1：デザイン確認・共有する



1つの場所（URL）で確認できる

これまでの経緯が確認しやすい

社内共有がしやすい

活用ケース2

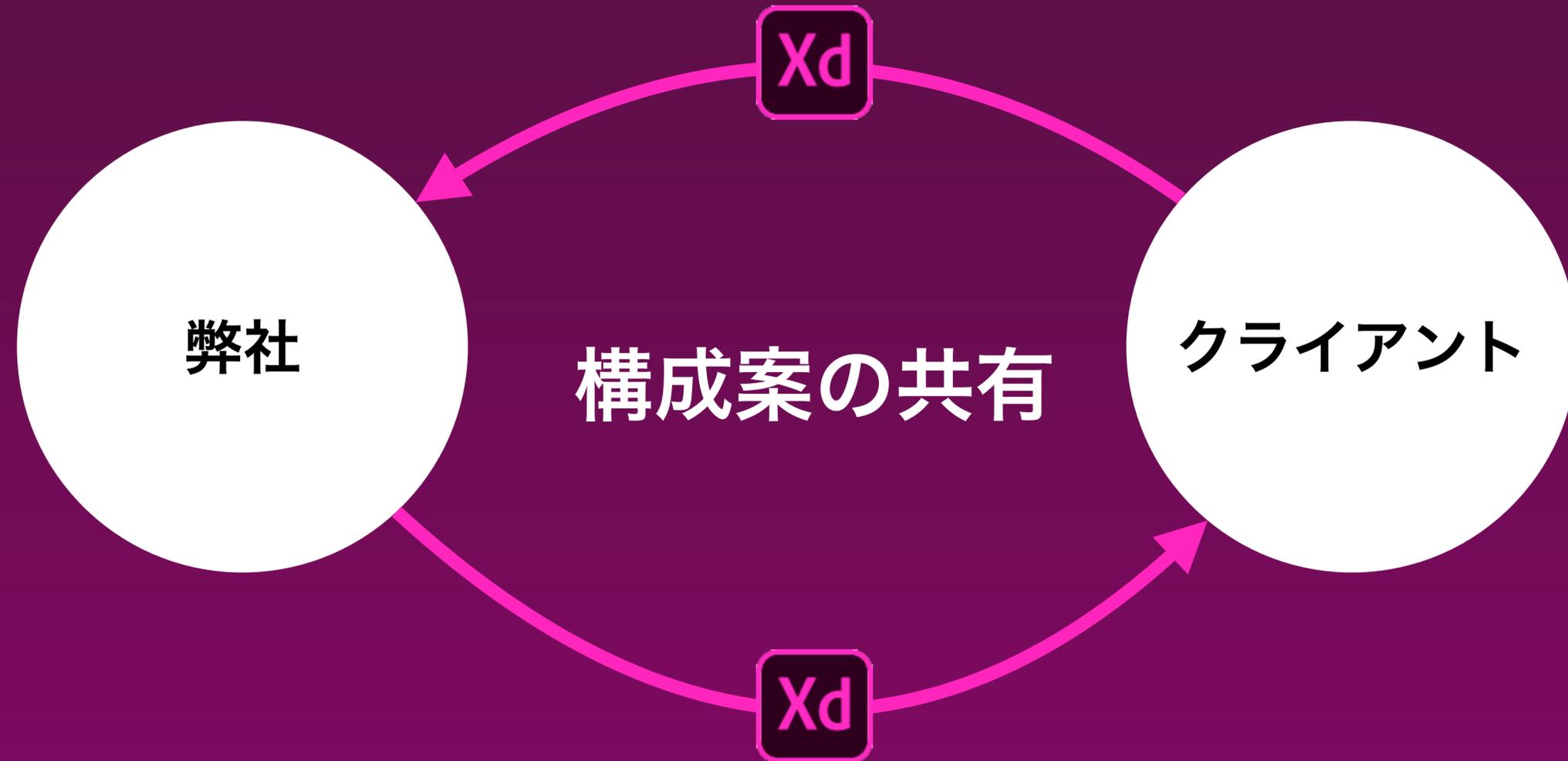
ドキュメントをXSDに統一する

## ケース2：ドキュメントをXDに統一する



クライアントの部署ごとに共有される  
ドキュメントのフォーマットがバラバラ

## ケース2：ドキュメントをXDに統一する



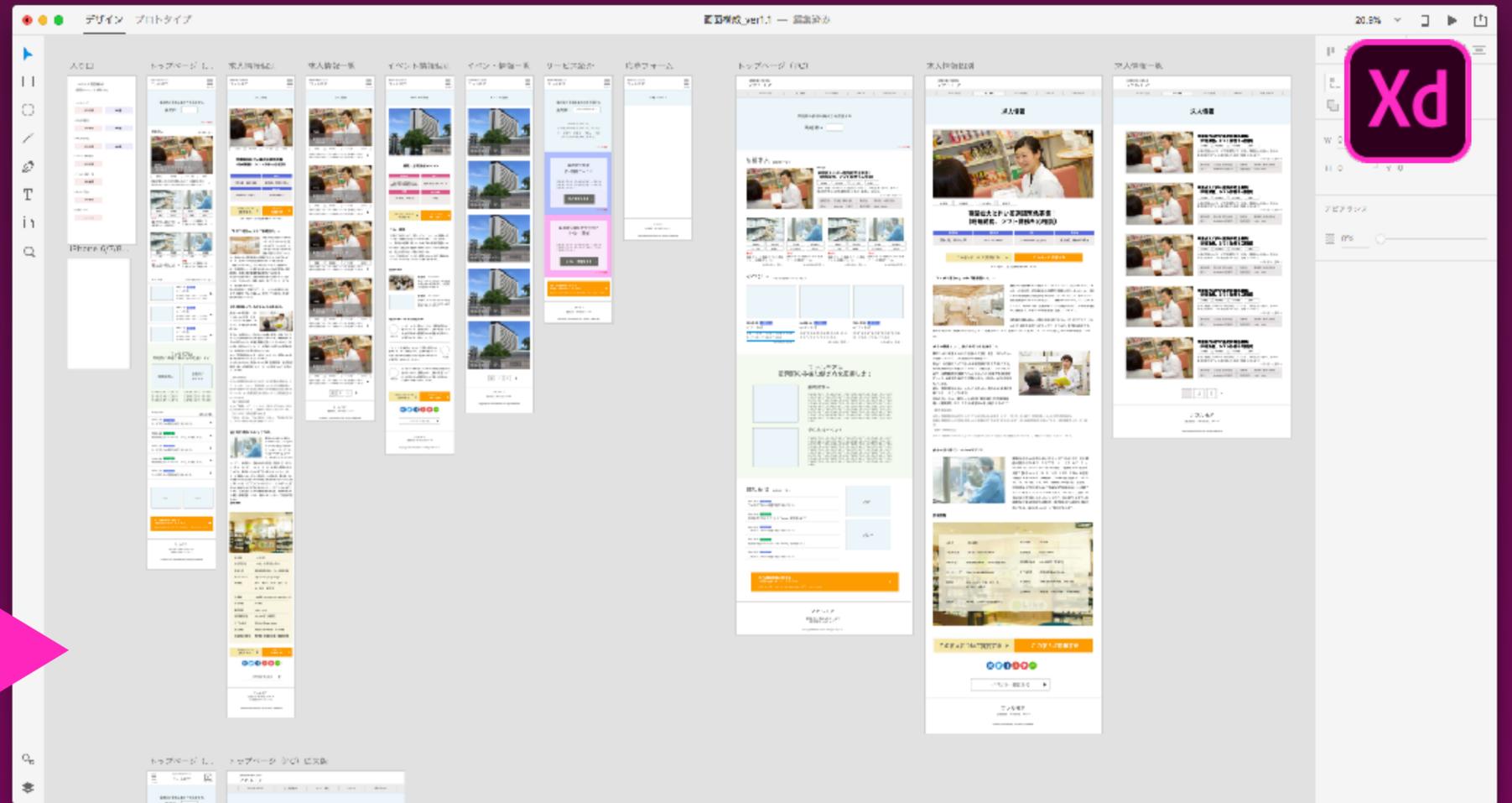
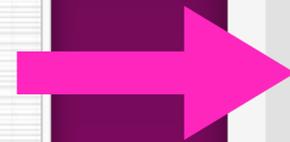
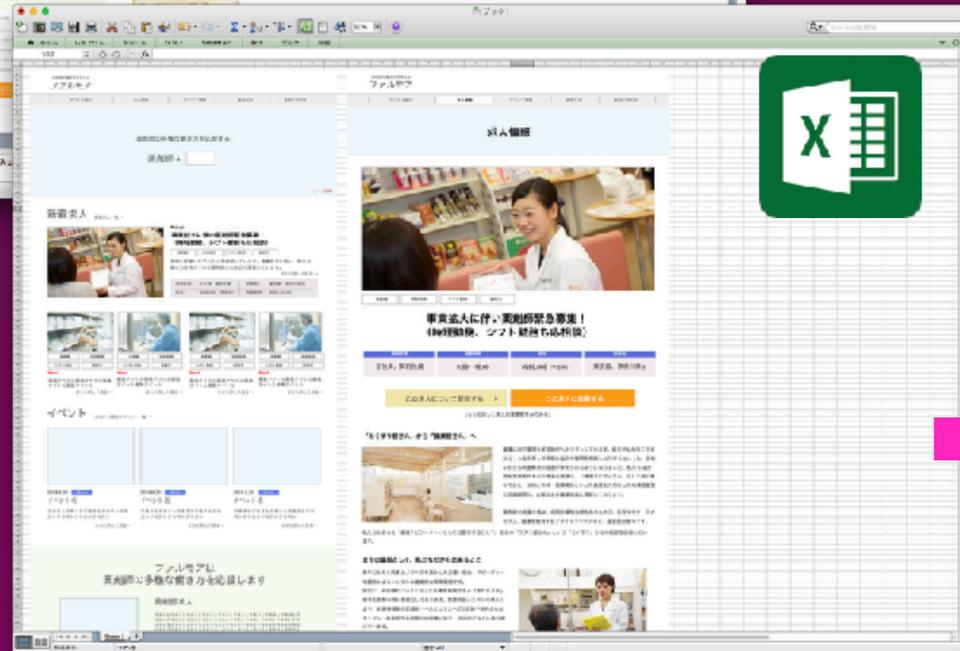
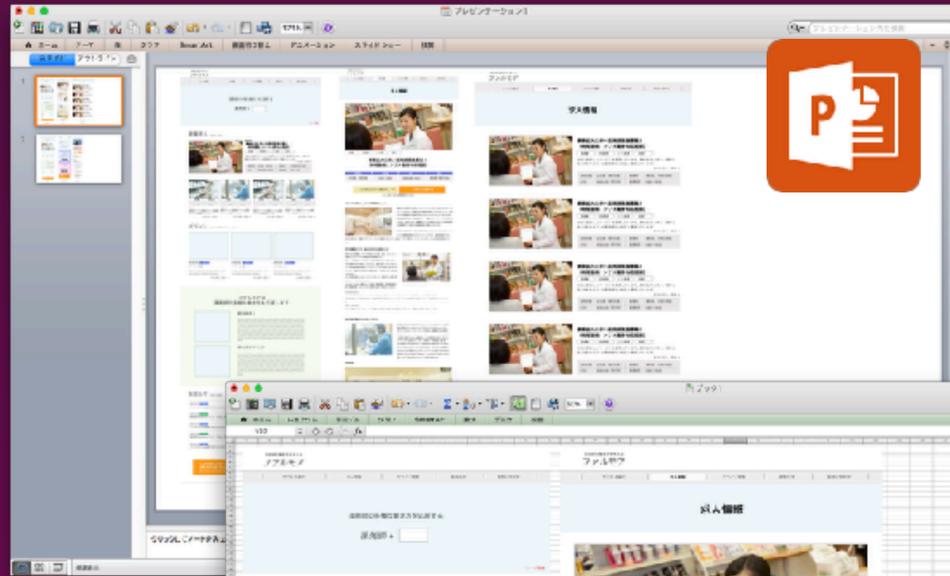
ドキュメントをXDに統一しました

## ケース2：ドキュメントをXDに統一する

---

パワポやエクセルで  
構成案を作れる人は  
XDを使える

# ケース2：ドキュメントをXDに統一する



作業環境があれば、1～2時間でXDに移行することは可能です

## ケース2：ドキュメントをXDに統一する



短時間で作ることができる

確認、共有がしやすい

制作進行がスムーズになった

## 2つの活用ケースのポイント

1. ツールやドキュメントをまとめる
2. 導入の負荷を上回るメリットを伝える
3. 実際に体感してもらおう機会をつくる

# ディレクターが考えるXDの導入・活用方法

背景

クライアントが見ていること、思っていること

導入

どのようにXDを導入するか

活用

どのようにXDを活用しているか

まとめ

**XDの導入によって得られる価値**

# XDが導入・活用できるポイント

デザイン

プロト  
タイピング

イメージの  
共有

制作フローの効率化

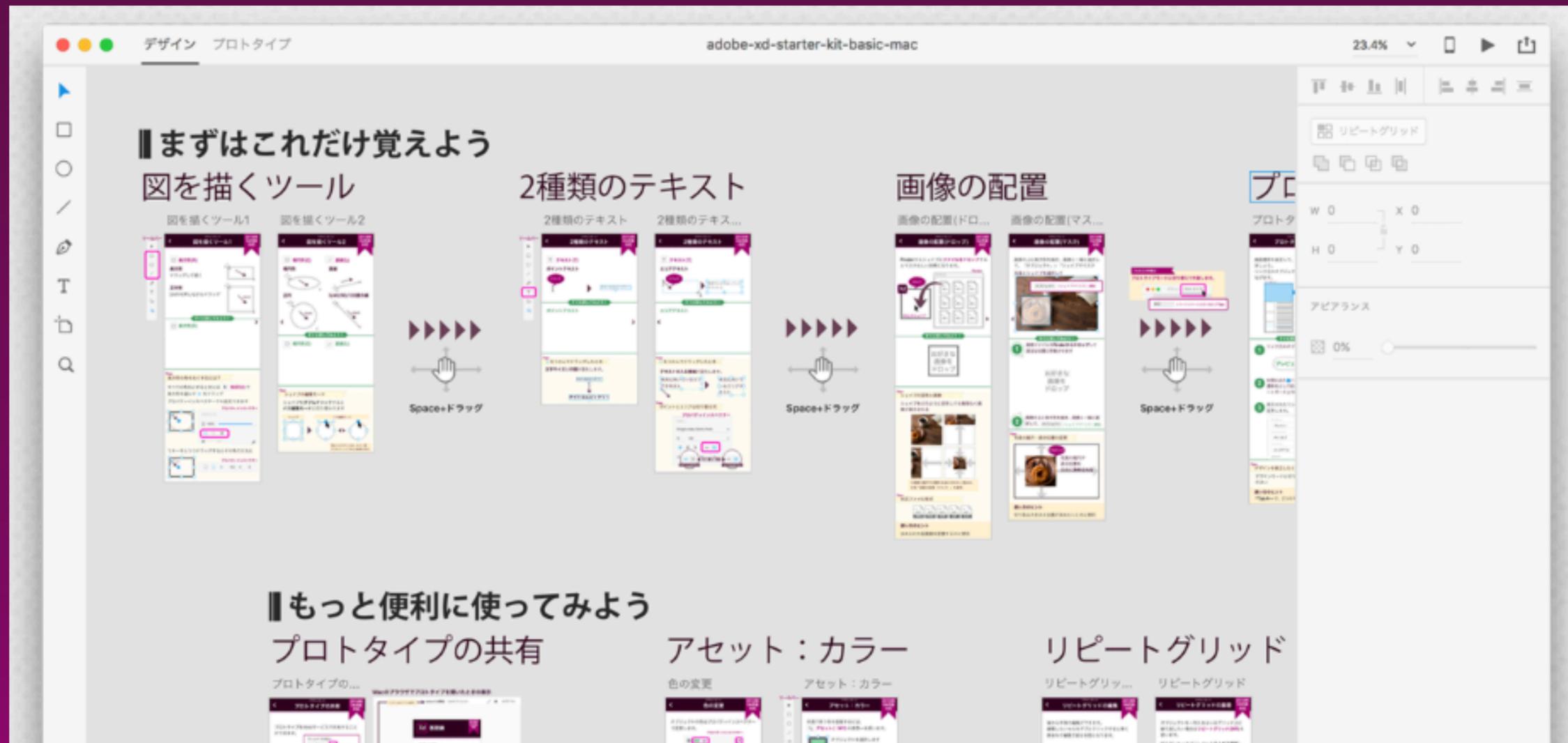
コミュニケーション

# スタータープランの登場

	 スタータープラン	 単体プラン
	<b>無料</b> <a href="#">XDをダウンロード</a>	<b>1,180 円/月</b> (税別) <a href="#">購入する</a>
Adobe XD	●	●
アクティブな共有プロトタイプ	1	無制限
アクティブな共有デザインスペック	1	無制限
クラウドストレージ	2GB	100GB
その他のサービス	Typekit無料プラン (限定フォントセット) Creative Cloudライブラリ	Typekitポートフォリオプラン (全フォントライブラリ) Creative Cloudライブラリ

無料でいますぐに  
使うことができる

# スターターキットの提供



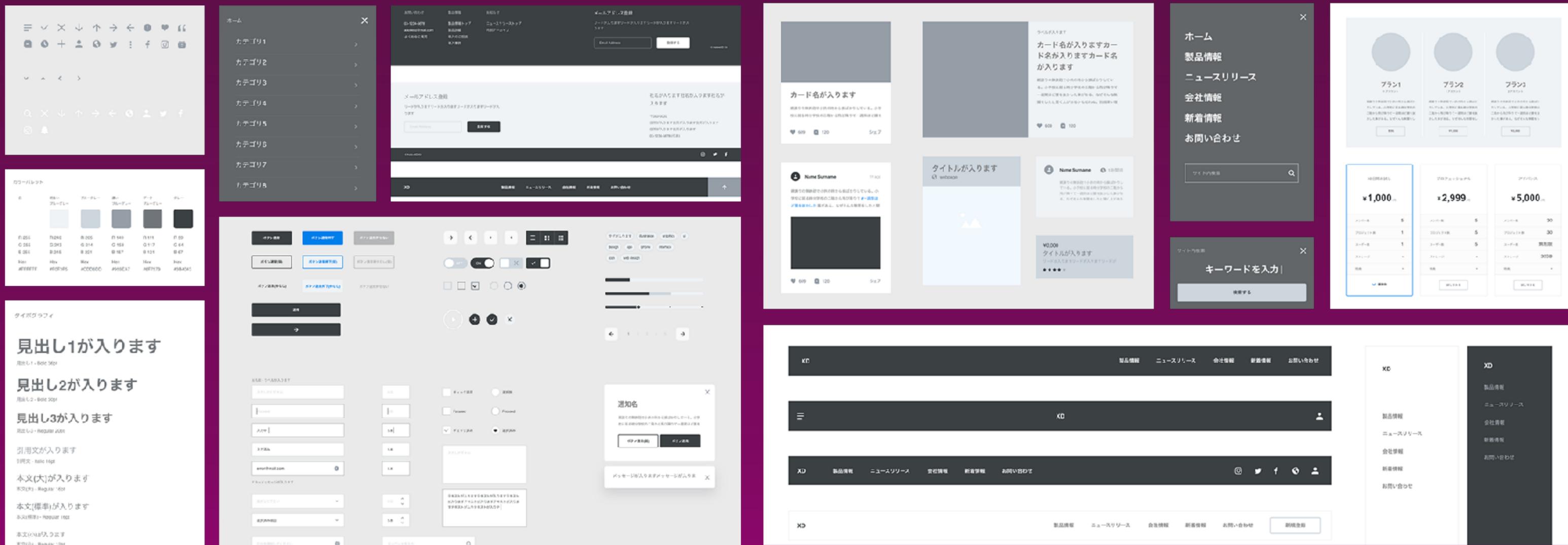
すぐにXDの使い方を学ぶことができる

# 日本語版ワイヤーフレーム UIキットの提供



ワイヤーフレームを短時間で作れることができる

# 日本語版ワイヤーフレーム UIキットの提供



ワイヤーフレームを短時間で作れることができる

使ってみない理由がない

# XDの導入によって得られる価値

## 負荷

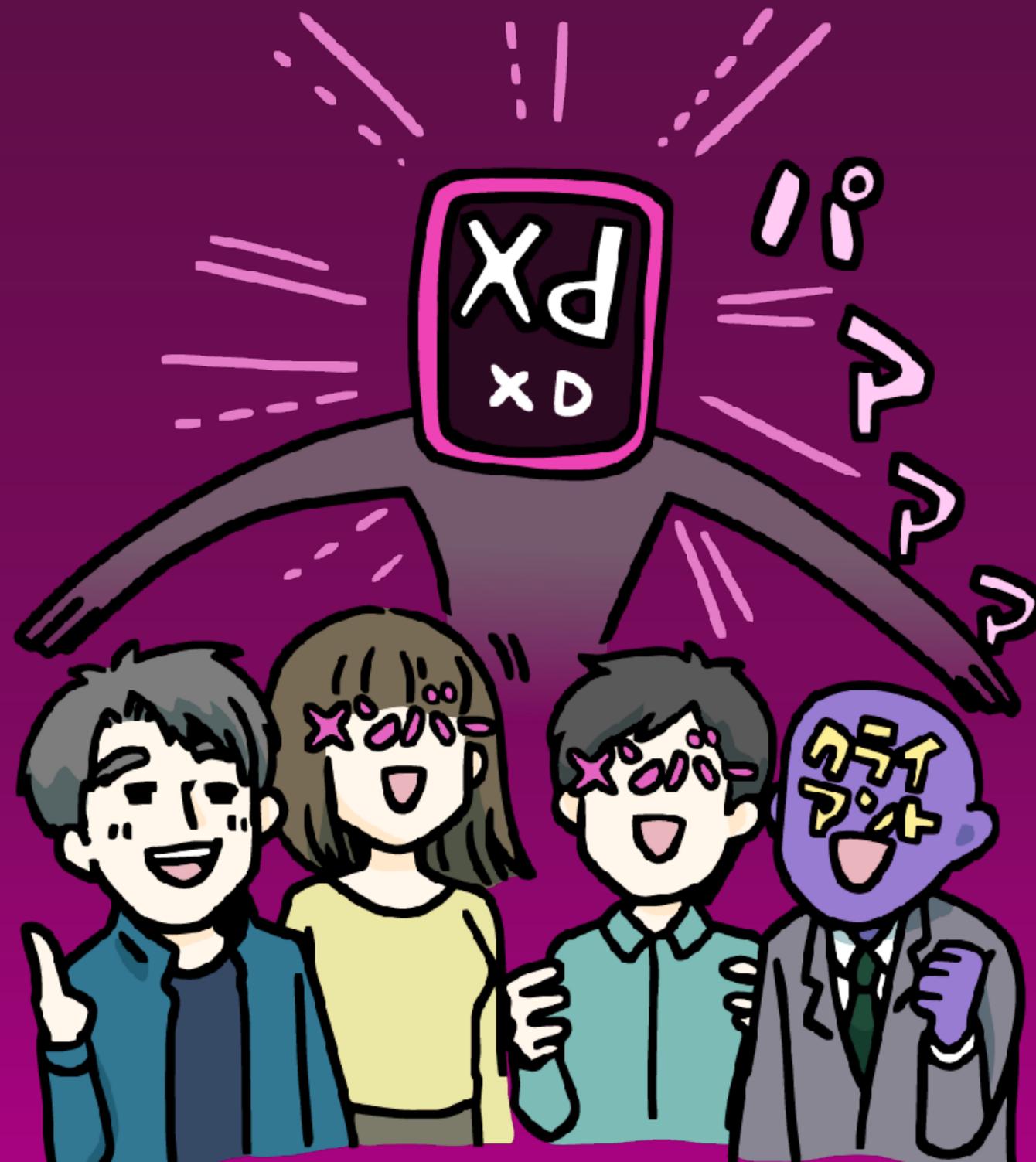
学習コスト  
ツールの使い分け  
確認の手間

<

## 価値

作業の軽減  
新しい体験

# XDは対話のためのツール



## 最後に

クライアントやプロジェクトメンバーに  
XDを導入することによって得られる価値を  
伝えることを忘れずに

**One more thing...**

# XDを使ったワークショップ



Adobe XD  
meeting

extra #01

ワークショップスタイルで  
サービス改善を考える



## 付箋

テキストを入力してください  
テキストを入力してください

テキストを入力してください  
テキストを入力してください

テキストを入力してください  
テキストを入力してください

テキストを入力してください  
テキストを入力してください

## ペルソナ共感マップ



## サービスの理想と現実



## 課題抽出、選択



## ストーリーボード



ワークショップで使った、  
XDで作ったワークシートを  
限定公開します



# 正式公開は近日中にnoteで行います



<https://note.mu/katsutaro>

ありがとうございました



@katsutaro